

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜松東高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	18
学校施設の概要	19
在籍生徒調	21
入学志願者及び入学者数調	22
卒業生の動向調(高等学校用)	24
生徒の状況	26
授業料収納状況調	28
歳入予算執行状況調	32
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	38
過年度分収入未済額調	38
現金出納調	39
預金調	40
郵券等受払調	41
歳入歳出外現金調	42
歳出予算執行状況調	43
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	49
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	49
委託料に関する調	50
負担金支出調	52
建築工事調	54
公有財産調	56
借地借家等調	57
行政財産貸付・使用許可調	58
普通財産・借受財産等貸付調	58
備品・図書調	59
主要備品調	63
職員調	64
職員の年齢調	67
健康管理	68

□□□□□□□

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 昭和45. 12. 5 静岡県議会11月定例会において静岡県立浜松東高等学校の設置を議決
12. 23 昭和46年度入学者生徒募集定員を商業科315名（7学級：生産管理科2、営業科3、秘書科2）と発表
46. 4. 1 浜松市笠井新田町1, 442番地に、校地 33, 081. 80㎡、仮校舎3棟 1, 770㎡
自転車置場 108㎡、物置 67㎡、職員23名をもって開校
47. 3. 24 本館建築工事（鉄筋4階建 4, 545㎡）竣工
48. 3. 20 南館建築工事（鉄筋4階建特別教室 4, 679. 78㎡）竣工
12. 5 創立記念日、校歌制定
49. 4. 1 第1学年8学級（生産管理科2、営業科3、秘書科3）となる。
4. 30 体育館兼柔剣道場建築工事（鉄骨2階建 2, 031. 46㎡）竣工
50. 11. 1 校舎落成・創立5周年記念式典挙行
52. 9. 7 プール（25m×8コース）及び付帯施設工事竣工
53. 3. 27 南館2期建築工事（特別教室 505. 86㎡）竣工
55. 11. 13 創立10周年記念式典挙行
56. 12. 26 運動場用地（3, 988㎡）取得
57. 4. 1 第1学年7学級（生産管理科2、営業科2、秘書科3）となる。
59. 4. 4 運動場用地（50㎡）取得
60. 2. 23 弓道場建設工事（158. 7㎡）竣工
4. 1 第1学年8学級（生産管理科2、営業科3、秘書科3）となる。
61. 6. 30 生活館（東風館）建築工事（698. 48㎡）竣工
63. 4. 1 第1学年9学級（生産管理科2、営業科4、秘書科3）となる。
- 平成元. 3. 16 別館建築工事（特別教室 81㎡ 渡り廊下 35㎡）竣工
2. 11. 14 創立20周年記念式典挙行
4. 4. 1 普通科併置及び学科改編
- 第1学年9学級（普通科2、情報処理科2、流通経済科2、秘書科3）となる。
6. 4. 1 第1学年9学級（普通科4、情報処理科2、流通経済科2、秘書科1）となる。
11. 4. 1 学科改編

第1学年9学級（普通科4、情報ビジネス科2、総合ビジネス科3）となる。

12. 11. 17 創立30周年記念式典挙行

14. 4. 1 第1学年8学級（普通科3、情報ビジネス科2、総合ビジネス科3）となる。

15. 4. 1 第1学年9学級（普通科4、情報ビジネス科2、総合ビジネス科3）となる。

16. 4. 1 第1学年8学級（普通科3、情報ビジネス科2、総合ビジネス科3）となる。

17. 4. 1 第1学年7学級（普通科3、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

21. 4. 1 第1学年8学級（普通科4、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

22. 12. 3 創立40周年記念式典挙行

26. 4. 1 第1学年9学級（普通科5、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

28. 4. 1 第1学年8学級（普通科4、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

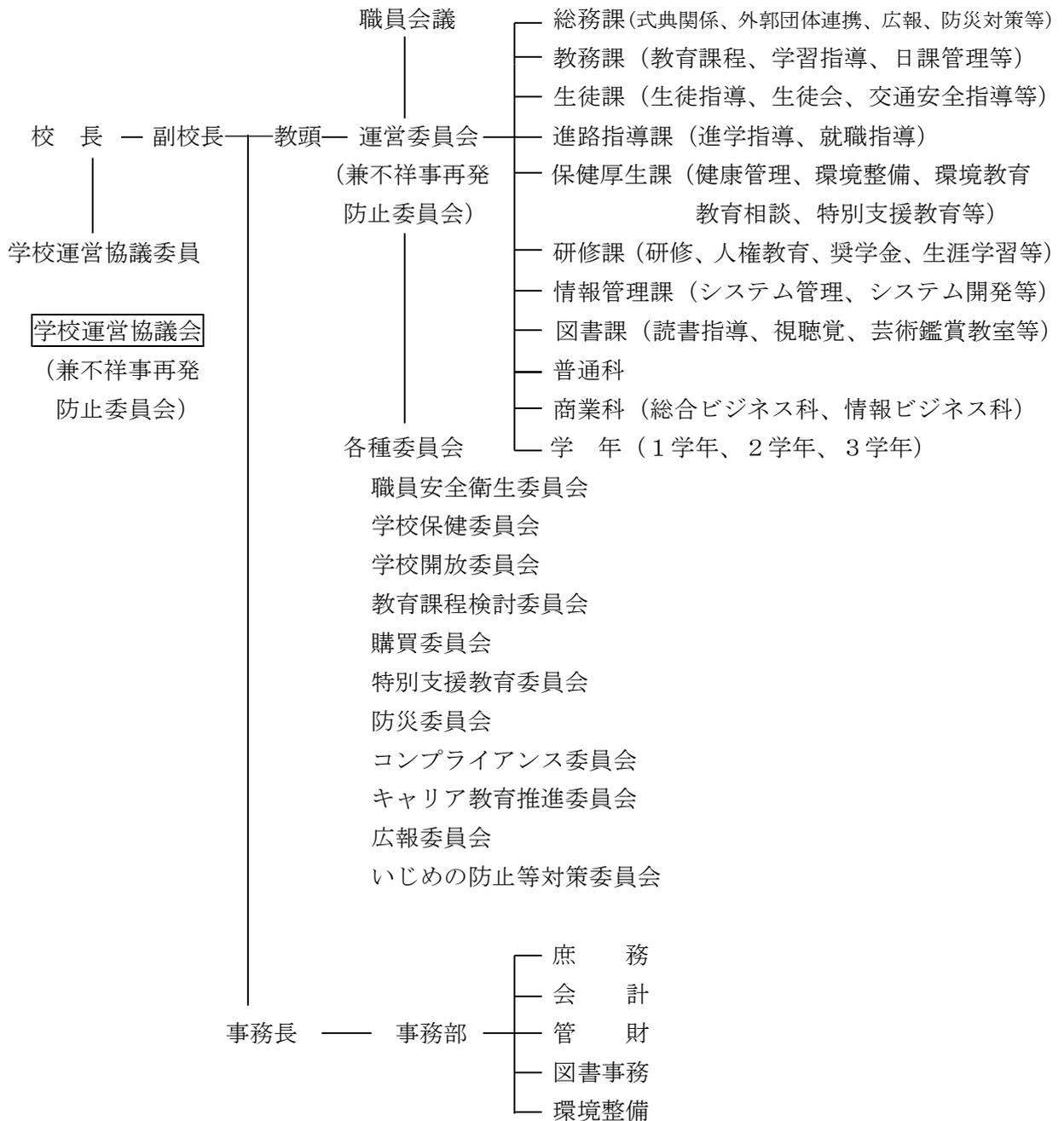
令和 2. 10. 19 創立50周年記念式典挙行

3. 4. 1 第1学年7学級（普通科3、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

4. 4. 1 第1学年8学級（普通科4、情報ビジネス科2、総合ビジネス科2）となる。

6. 4. 1 第1学年7学級（普通科4、情報ビジネス科1、総合ビジネス科2）となる。

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

浜松市内唯一の商業科と普通科を併置した学校としての特色を生かし、校訓「学ぶ術を学ぶ」のもと、志を掲げ、健康で安全な学校生活を送ることで、たくましく生きる力を養う。また、多様な進路希望に対応したキャリア教育や総合的な探究活動、部活動等を通して、生涯にわたって学び続ける力を身に付けるとともに、自立心と思いやりの心を持ち、地域や社会に貢献する人間性豊かな生徒を育成します。

(2) 目指す学校像

ア スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>・校訓「学ぶ術を学ぶ」を目標とし、たくましく生きる力と生涯にわたって主体的に学ぶ姿勢を育成します。</p> <p>・地域社会に貢献するために必要なコミュニケーション能力、チャレンジ精神を身に付けた人間性豊かな生徒を育成します。</p> <p>・基礎学力の定着と進路実現に必要な学力の育成を行います。</p> <p>・キャリア教育及び総合的な探究の時間を通して、主体的に行動する力、自己管理能力、仲間とともに困難を乗り越える力を育成します。</p>	<p>(全校共通)</p> <p>生徒の目標達成に対してのサポートと健康で安全な学校生活を送るための指導、支援を行います。</p> <p>(商業科共通)</p> <p>・実社会で活用できるビジネススキルの習得を目指します。</p> <p>・資格取得や各種検定、競技会への挑戦等を通して、社会に適応する力、学ぶ意欲、チャレンジ精神などを養います。</p> <p>・外部講師を招く他、地域と連携した学習を行います。</p> <p>(情報ビジネス科)</p> <p>・情報スキルの学習活動を通して、物事を解決するための実践的思考を育てます。</p> <p>・商業に関する上位の資格取得に挑戦し、進学・就職の進路目標の実現に繋がります。</p> <p>(総合ビジネス科)</p> <p>・地域のイベントへの参加や地元産業界と連携し、自らのアイデアや積極性を発揮するための実践的・体験的な学習を行います。</p> <p>・グローバル経済や観光ビジネス等、新しい学習内容に関する知識及び技術を学び、創造的な企画力や開発に取り組む態度を育てます。</p> <p>(普通科)</p> <p>・基礎学力をバランスよく定着させ、柔軟な選択により多様な進路目標の実現を目指した学習を行います。</p> <p>・商業科目の資格を取ることが出来るカリキュラムを充実させます。特に教科「情報」に関しては、情報ビジネス科の資産を生かし、充実した内容の学習を行います。</p>	<p>(全校共通)</p> <p>個性を認め合い、友人と協力して目標を達成する力を身に付け、たくましく生きていこうとする生徒。</p> <p>(商業科共通)</p> <p>・商業に対する興味・関心が強く、将来ビジネス分野で活躍したい生徒。</p> <p>・自ら学ぼうとする姿勢や向上心を持ち、商業科目や資格取得に向け積極的に取り組む生徒。</p> <p>(情報ビジネス科)</p> <p>・情報スキルを実社会で活用し、それを生かした職業への関心が高い生徒。</p> <p>・商業に関する高度な資格の取得を志し、粘り強く取り組むことのできる生徒</p> <p>(総合ビジネス科)</p> <p>・地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考えている生徒。</p> <p>・新しいビジネスや商品に関心を持ち、学んだ知識を地域や企業で発揮しようと志す生徒。</p> <p>(普通科)</p> <p>・自らの可能性を信じ、高い目標を持って夢を実現させる意欲のある生徒。</p> <p>・規律や規範を守り、礼儀正しく、他者を思いやることのできる生徒。</p>

イ スクール・ポリシー具現化の柱

- (ア) 安心・安全な学習環境の整備と健全な心身の育成
- (イ) 基礎学力の定着と進路実現に必要な学力の育成
- (ウ) 地域に貢献する探究活動を通じたキャリア教育の充実
- (エ) 信頼される学校づくりの推進
- (オ) 教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

D：ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	安心・安全な学習環境の整備と健全な心身の育成	・「災害発生時に備え、時と場に 応じた避難先・経路を把握して いる」と答える生徒80%以上。	91.4%	A	地域の方も参加していただき、 自衛隊による救急搬送訓練を 実施した。引き続き防災教育を 推進していく。
		・「交通ルールを守っていると 答える生徒」90%以上。	98.4%		重大な被害事故が1件。引き 続き交通安全の啓発に努める。
		・「学校行事に積極的に参加し、 人間関係が充実してきたと 思う」と答える生徒80%以上。	93.2%		部活動以外の場面での人間関係 構築も模索したい。
		・「悩みを相談できる人がいる」 と答える生徒80%以上。	85.2%		生徒と教職員との信頼関係が 構築されている。
		・「日頃から私物の整理整頓、 教室等の環境整備（清掃含む） を意識している」と答える生 徒80%以上。	93.2%		当番制の清掃に切り替えたが、 概ね良好である。
		・「生徒が利用しやすい図書館 環境が整っている」と答える 生徒80%以上。	84.9%		この環境を生かした読書指導を 考えていく必要がある。
		・「1年間で2冊以上の本を読 んだ」と答える生徒50%以上。	66.4%		読書習慣の形成をより工夫する 必要がある。
		・「芸術鑑賞教室が良かった」と 答える生徒80%以上。	98.7%		コメディミュージカル「真夏の 夜の夢」を鑑賞した。非常に好評 であった。来年度は音楽鑑賞の 予定。
イ	地域に貢献する担 い手育成のた めの規範意識 醸成	・「欠席・遅刻・早退をしないよ うに努力している」と答える 生徒90%以上。	94.2%	A	特定の生徒以外はおおむね良好 である。否定回答層の生徒への 個別支援を継続していく。
		・「学年行事や授業等で行った 地域連携学習では、主体的に 取り組むことができた」と答 える生徒が80%以上。	93.0%		ダンス部、吹奏楽部、美術部、 書道部、園芸ボランティア部、 写真部等が地域で活動した。ス ポーツⅡではゴルフの指導を受 けた。既存の地域連携にとどま らず、より主体的な取組を促す 仕掛けが必要な時期にきてい る。
		・「日頃から個人情報の取り扱 い等に注意している」と答 える生徒90%以上。	98.7%		引き続き個人情報の取扱いの注 意喚起を行う。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「さわやかな挨拶ができ、身だしなみに気を付けている」と答える生徒 80%以上。 	97.6%		さわやかな挨拶が励行されており、今後も本校の良さとして継続させていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校のきまりを守って生活している」と答える生徒 80%以上。 	99.3%		引き続き規範意識を徹底させる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「集団の中の一員として仲間を尊重し、行動できる」と答えた生徒 80%以上。 	97.9%		生活環境改善活動（奉仕活動）に関して、浜松市から表彰を受けた。引き続き仲間を大切にする集団の構築を目指す。
ウ	基礎学力の定着と進路実現に必要な学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の授業参観と年2回の生徒による授業評価が活用されている。 	生徒による授業評価未実施	A	今後は、生徒が自らの学習を振り返るアンケートを作成し、その結果を踏まえて授業改善につなげていく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「授業の内容に興味、関心を持たれた」と答える生徒 80%以上。 	88.1%		引き続き授業改善を続けていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学んだことについて、考え、表現する力を伸ばすことができた」と答える生徒 80%以上。 	86.9%		「思考・判断・表現」の観点について、引き続き研究していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「授業やHR活動等で、Cラーニングを活用した情報の送受信や、授業の課題提出を実施した」と答える生徒が 90%以上。 	96.1%		多くの教員がCラーニングを積極的に活用している。今後は、より多くの授業で学力向上に寄与するようなICT活用を研究していく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習指導要領に対応した指導法、評価の取り組み 100% 	100%		今後も、生徒の実態を把握し、評価規準を見直していく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「朝読書や朝学習にしっかりと取り組んでいる」と答える生徒 90%以上。 	93.3%		落ち着いて取り組んでいる。より効果的な時間となるような仕掛けを考えていく
		<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒の適性や希望を生かす適切な進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 80%以上。 	生徒 90.7% 保護者 84.0%		進路課を中心とした指導の成果が表れている。生徒の良さを生かした進路実現を後押ししていく。
エ	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会に役立つ姿勢や資質を身に付ける教育が行われている」と答える生徒、保護者 80%以上。 	生徒 94.1% 保護者 88.5%	B	引き続き、キャリア教育の場面を設定してしく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「学校外の諸活動を通して、学校と地域との連携の重要性を体感できた」と答える生徒 80%以上。 	81.7%		肯定回答は多いが、学校としての仕掛けは不十分であると感じている。今後の課題である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「部活動で頑張っている」と答える生徒 90%以上。 	89.6%		引き続き部活動を通して、人と人とのつながりや協力性を深めさせていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の将来の生き方（進路等）について考えている」と答える生徒 90%以上。 	86.5%		昨年度より数値が向上した。今まで以上に探究活動と結び付け、振り返る時間を設定するなど、内容を充実させていく。

オ	開かれた学校づくりの推進	・ ホームページ・インスタグラムが週に1回以上更新されている。	いない	B	新ホームページとなり、更新担当者を今一度確認していく。
		・ ホームページのアクセス数年間 50,000 件以上。	評価不能		まずは作成方法に習熟していく必要がある。
		・ 情報の発信が P T A 総会、発行物、メール配信等により定期的に行われている。	いる		P T A 総会での情報提供や「浜松東高新聞」、「浜松東高かわら版」、ホームページ等を活用して、情報を発信した。作成した広報物がより多くの人の目に触れるような広報の仕方を工夫していく必要がある。
		・ 「保護者に対して行事や進路等の情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80% 以上。	82.6%		C ラーニングの活用が活発になってきている。
		・ 広報活動を目的とした中学校への訪問 年間 50 校以上。	延べ 80 校以上		学校の魅力を整理し、出前授業及び管理職の訪問を継続する。
		・ 来場者数 浜東祭：1,000 人以上。 一日体験入学：1,000 人以上。 オープンスクール 300 人以上	浜東祭 900 人 体験入学 1000 人 オープンスクール 150 人		体験入学及びオープンスクールの内容を検討し、学校の良さを伝えることで、志願者数の増加につなげたい。
カ	教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備	・ 校長は、毎月の職員会議等を通して、チーム内での情報の共有化を図る。	毎月、県からの情報を共有した	C	毎月、職員会議で資料を提示して説明した。
		・ 職員に対するアンケートを実施し、「遣り甲斐を感じている」と答える職員 90% 以上。	ストレスリスクは、全国平均より少なめ		「総合健康リスク」や「仕事の量的負担」等は、全国平均より少なめで、職場への適応状態は「やや良好」であった。 (ストレスチェック集団分析レポートの結果から)
		・ 管理職及び事務室は、ペーパーレスの推進を図るとともに Google アカウントを有効活用し業務のスリム化を図る。	ペーパーレス化の推進		職員会議はペーパーレス化で行った。面談日程表、授業見学計画表、職員動静表を Google スプレッドシートで共有した。今後も業務のスリム化を進める。
		・ 教職員全体で危機管理対応に関して意識を高め、安全安心な学校づくりを構築する。	情報共有した		危機管理マニュアルの読み合わせや不祥事根絶研修の中での共有を行った。
		・ 定期退勤日を個人個人設定し、同僚が周知することでお互いの協力や効率的な校務を進める。	不十分		個人ごとの定時退勤日の設定を今一度呼び掛ける。組織としては、完全退庁時間を設定し、以後在校する場合の実態を把握し、今後の方針を検討する。
		・ 出張による振替や変形労働制度を積極的に利用し、超過勤務の負担軽減に繋げる。	一部実施		管理職が個々の教職員の業務を把握し、負担軽減に努める。

(2) 令和7年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価
ア	たくましく生きる力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への日常的な声掛け(勇気づけ・価値づけ) 教員からの挨拶の励行 初期指導での人間関係づくり 毎月実施する朝礼での講話 ポートフォリオへの記入を通じた自己認識の深化 部活動への積極的な参加 豊かな感性をはぐくむ芸術鑑賞教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 「欠席・遅刻・早退をしないように心掛けている」と答える生徒 90%以上。 定期的な挨拶運動の実施 「学校行事に積極的に参加し、人間関係が充実してきたと思う」と答える生徒 80%以上。 「集団の中の一員として仲間を尊重し、行動できる」と答える生徒 80%以上。 「部活動で頑張っている」と答える生徒 90%以上。 「芸術鑑賞教室が良かった」と答える生徒 80%以上。 	全職員 教務 保健厚生 生徒 図書 学年
	生徒が相談しやすい体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> 中学校から提供された情報の活用 生徒との定期的な面談の設定 S CやS S W等の外部機関との連携 発達支持的生徒指導や特別支援に関する知識や技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 「悩みを相談できる人がいる」と答える生徒 80%以上。 発達支持的生徒指導や特別支援教育に関する研修の実施 	全職員 保健厚生 生徒 研修 学年
	規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> S N Sの使い方指導等を通じた情報モラルやルールの習得 身だしなみ指導 明るく温かい、気持ちの良い挨拶の励行 	<ul style="list-style-type: none"> 「日頃から個人情報の取扱い等に注意している」と答える生徒 90%以上。 「学校のきまりを守って生活している」と答える生徒 80%以上。 「さわやかな挨拶ができ、身だしなみに気を付けている」と答える生徒 80%以上。 	生徒 学年
	災害及び交通事故から身を守る意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎月実施する朝礼での交通指導 防災訓練の工夫(新たな取組の検討) 	<ul style="list-style-type: none"> 「交通ルールを守っている」と答える生徒 90%以上。 「災害発生時に備え、時と場に応じた避難先・経路を把握している」と答える生徒 80%以上。 	生徒 総務
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 清掃の徹底 教室及び部室の整理整頓 美化委員による定期点検 私物管理の徹底 ごみの持ち帰りの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 「日頃から私物の整理整頓、教室等の環境整備(清掃含む)を意識している」と答える生徒 80%以上。 	保健厚生 学年
	危機管理対応	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の危機管理対応に対する意識とスキルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理対応に関する研修を実施する。 	管理職

イ	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に真剣に取り組む姿勢の確立 ・朝学習（朝読書）の効果的な方法の検討・実施 ・確認テストの継続実施 ・A I 学習教材の効果的な活用方法の検討 ・図書委員会による読書啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業内容に興味・関心が持てた」と答える生徒 90%以上。 ・「朝学習（朝読書）が基礎学力向上に役立っている」と答える生徒 80%以上。 	各教科 学年 図書
	探究活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意見や学びの成果を発表する実践的・体験的学習活動の実施 ・「総合的な探究の時間」の3年間のカリキュラムの見直し ・探究活動に関する研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学んだことについて、考え、表現する力を伸ばすことができた」と答える生徒 80%以上。 ・「総合的な探究の時間での探究活動を通して、成長を実感している」と答える生徒 60%以上。 ・総合的な探究の時間検討委員会の定期的な開催 	教務 研修
	教科指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員相互の授業参観の実施 ・生徒による授業アンケートの実施 ・授業アンケート等を通じた観点別評価の見直し ・一台端末等のICTを活用した授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の授業参観と年2回の生徒による授業評価が活用されている。 ・「授業の内容に興味、関心を持てた」と答える生徒 80%以上。 ・「授業やHR活動等で、一台端末を活用した情報の送受信や、授業の課題提出を実施した」と答える生徒 90%以上。 	全職員 研修 各教科
	資格取得への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・商業科生徒の資格取得への目標設定と積極的な挑戦 ・漢検・英検への積極的な挑戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら設定した資格取得に対する目標を達成する生徒の割合 80%以上 	商業科 国語科 英語科
ウ	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での交流・連携 ・課外活動（部活動を含む）での地域貢献 ・商業科生徒による新たな地域貢献の創出 ・大学や企業との連携 ・インターンシップの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学年行事や授業等で行った地域連携学習に携わった」と答える生徒が 50%以上。 ・「課外活動（部活動を含む）で行った地域連携学習に携わった」と答える生徒 50%以上。 ・「社会に役立つ姿勢や資質を身に付ける教育が行われている」と答える生徒、保護者 80%以上。 ・「学校外の諸活動を通して、学校と地域との連携の重要性を体感できた」と答える生徒 80%以上。 	商業科 各教科 学年 部活動
	進路学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路シラバスに基づいたキャリア教育の推進 ・進路希望に沿った個人指導の充実 ・大学との教育交流協定の活用や外部からの積極的な講師招聘 ・ガイダンスや進路講話を通じたキャリア意識の醸成 ・外部の進路ガイダンスへの積極的な参加の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の将来の生き方（進路等）について考えている」と答える生徒 90%以上。 ・「生徒の適性や希望を生かす適切な進路指導を行っている」と答える生徒、保護者 80%以上。 	進路指導 学年

エ	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会への情報発信（「浜東PTAレポート」、「浜松東高かわら版」、「浜松東高新聞」） ・地域の方が各種行事に参加できる環境づくり ・中学校への広報活動 ・学校ホームページやインスタグラムによる情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧版で情報提供をする。 ・学校紹介や出前授業等による中学校への訪問 年間 50 校以上。 ・来場者数 浜東祭：1,000 人以上。 一日体験入学：1,000 人以上。 ・オープンスクール 300 人以上 	総務 管理職 情報管理 生徒 教務
	保護者との良好な信頼関係の構築及び情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・Cラーニングの効果的な活用 ・Cラーニングによる双方向の情報交換 ・必要に応じた電話連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者に対して行事や進路等の情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80%以上。 ・情報の発信がPTA総会、発行物、Cラーニング等により定期的に行われている。 ・「お子さんを本校に入学させて良かった」と答える保護者 90%以上 	教務 情報管理 進路指導 学年
オ	協働意識の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からの職員間での挨拶や声掛けの励行 ・優れた指導や実践を行ったチームや教職員に対する評価・共有 ・プチ研修の実施 ・年次研修におけるチーム研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の打合せや職員会議等の隙間時間を活用したプチ研修を実施する ・年次研修対象者が、チーム研修を通して成長したと実感している。 	全職員 管理職 事務部
	業務の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有及び共通理解 ・業務の目的の明確化 ・NES 端末更新後の更なるペーパーレス化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案資料には目的を記載する。 ・運営委員会をペーパーレスで実施する。 	
	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の内容や進め方の見直し ・定時退勤日の設定 ・職員室最終退出時刻の設定 ・勤務時間管理システムの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック集団分析でのストレスリスクを確認する。 ・出張による振替や変形労働制度を積極的に利用し、超過勤務の負担軽減に繋げる。 ・勤務時間管理システムで自らの働き方を把握する。 	
	効果的な予算執行	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性、優先順位の精査による予算確保 ・教職員からの要望を集約、必要な修繕、購入品等の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理的予算を当初予算比 5%削減し、教育活動に係る経費に充てる。 ・「できないこと」は理由を示し、「できること」は執行計画を明確に示していく。 	

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>「地域と連携したキャリア教育」を推進している。全学年全生徒の進学を希望する生徒に対しての補習等を実施している。選択科目の学習指導において、生徒の授業理解を向上させるため、引き続き習熟度等による少人数教育を行っている。交通安全講話や指導を定期的実施する。</p> <p>また、交通安全委員が登校時に交通安全を定期的に呼びかける。保護者と連携した交通指導を実施する。地域行事、催し物において、地域自治体、商店街との連携を行う。静岡産業大学との教育交流協定を締結し、学校教育活動の円滑な運営と人的交流の促進を図っていく。</p>	<p>3年商業科を対象に6月13日、14日の二日間、地元企業の御協力です就業体験実習を実施し、約70社の企業のお世話になった。本年度は新たに「観光ビジネス」を開講し地域との連携を図る。基礎学力の定着と実力養成のために、全学年全生徒の進学を希望する生徒を対象に補習を継続実施した。習熟度等による少人数教育の効果は、感覚的には誰もが認めるところであるが、今後エビデンス検証も併せて実施する必要がある。学校紹介及び商業系授業を中心に模擬授業を、年間15校程度実施。</p> <p>また、中学校訪問は90校程度実施し、本校のPR、認知・理解度向上を図ることにより、定員確保に努めた。4月には新入生を対象に交通安全教室を開催。自転車のマナー教育を含めて命の大切さを伝え、交通安全意識の高揚を図った。7月には防災訓練として、航空自衛隊浜松基地隊員70名に來校いただき、災害発生時など万が一に備え、実践的な搬送訓練を行った。8月には静岡産業大学との連携協定を結び、経営学やスポーツ科学といった大学の専門性を高校教育や部活動に取り入れるなど高大連携を推進した。9月には交通安全指導員による交通講話を全校生徒対象に実施。10月には産業大学との協定事業で部活動の部員たち、教諭も含め「チームビルディングを生かした仲間とうまくやっていく方法」という題目で講座を聞いた。商業の授業でも大学より講師を派遣していただき、「コミュニケーションとして働く造形表現」といった講義や、大学に訪問して、心理学などを拝聴し、学びを深めることができた。今後も積極的な交流を模索している。1月には地元の「笠井だるま市」において商店街とコラボレーションを企画し、各種商品販売を実施。商品の箱詰めから販売までを体験し、地域にも貢献した。</p> <p>運動部では柔道部が女子52kg級新人戦西部地区2位(県大会出場)。男子バレー部が新人大会西部地区予選7位(県大会出場)。卓球部が東海卓球選手権大会県予選で女子シングルの部ベスト64(東海大会出場)。女子ソフトボール部が新人戦西部地区予選9位(県大会出場)。女子テニス部が県総合体育大会個人戦ダブルス(県大会出場)。弓道部が新人戦西部地区予選個人戦、個人戦女子3名、男子3名(県大会出場)男子団体戦西部地区5位(県大会出場)。剣道部が3段審査において高校生最高段位3段審査合格。サッカー一部が高校サッカー選手権静岡県大会3回戦進出、新人体育大会(県大会出場)。水泳部が西部地区男子総合4位、女子総合3位、個人・リレー等35種目(県大会出場)県大会男子総合9位、女子総合8位</p> <p>文化部ではダンス部がMUSICDAYS2024 ワイルドカードダンス部門日本工学院ミュージックカレッジ賞受賞、第10回浜松いわしんだンスパフォーマンスコンテスト優勝、高校ストリートダンスグランプリ2025決勝大会出場、ワープロ部が第61回西部地区ワープロ新人競技会において、ワープロの部団体準優勝、個人準優勝、英文ワープロの部団体準優勝。簿記部が新人競技会、1年生の部団体5位。美術部が高総文祭美工専門部西部展入選、文化祭ポスター、地域の各種催しのポスターや記念品デザイン。</p>

		<p>吹奏楽部が施設訪問演奏、協働センターまつり演奏、ウィンターコンサート（はままつフルーツパーク）、航空自衛隊70周年記念浜松基地ふれあいコンサート、スプリングバンドフェスティバル。書道部では、高齢者福祉施設での書道教室。笠井協働センターまつりパフォーマンス。写真部、美術部、書道部が笠井だるま市にて作品展示。</p>
令和7年度	<p>「地域と連携したキャリア教育」を推進している。全学年全生徒の進学を希望する生徒に対しての補習等を実施している。選択科目の学習指導において、生徒の授業理解を向上させるため、引き続き習熟度等による少人数教育を行っている。地域中学校生徒に対して、商業科職員が商業科目の模擬授業、管理職が学校説明会や訪問することにより、本校のPR、認知、理解度向上を図った。また、交通安全講話や指導を定期的実施する。交通安全委員が登校時に交通安全を定期的に呼びかける。保護者と連携した交通指導を実施する。協働センター・地域行事、催し物において、地域自治体、商店街との連携を行う。</p>	<p>3年商業科を対象に6月19日、20日の二日間、地元企業の御協力で就業体験実習を実施し、約40社の企業のお世話になった。基礎学力の定着と実力養成のために、全学年全生徒の進学を希望する生徒を対象に補習を継続実施した。習熟度等による少人数教育の効果は、感覚的には誰もが認めるところであるが、今後エビデンス検証も併せて実施する必要がある。学校紹介及び商業系授業を中心に模擬授業を、10校程度実施、今後も中学校からの要望に応じていきたい。</p> <p>また、中学校訪問は4月より90校程度実施し、本校のPR、認知・理解度向上を図ることにより、定員確保に努めた。4月には新入生を対象に交通安全教室を開催。自転車のマナー教育を含めて命の大切さを伝え、交通安全意識の高揚を図った。7月には防災訓練として、避難訓練とともに、防災グッズ仕分けゲームを全校生徒が体験し、災害を自分事としてとらえ猛暑の中での訓練を行った。9月には交通安全指導員による交通講話を全校生徒対象に実施。昨年度に引き続き静岡産業大学との連携協定を活用し、大学に出向いての体験授業など実施する予定であり、高大連携を推進した。1月には地元の「笠井だるま市」において商店街とコラボレーションを企画し、商品の箱詰めから販売までを体験し、販売実習を通して、地域に貢献する予定である。</p> <p>部活動では柔道部が個人男子100kg級総体西部4位、100kg超級西部1位（県大会出場）。男子バレーボール部が新人大会西部地区予選8位（県大会出場）。県ベスト32。卓球部が総体県大会出場、中部日本選手権ベスト32（本大会出場）。全日本ジュニア西部地区予選女子シングルベスト48（県大会出場）。女子ソフトボール部が選手権県大会出場。女子バスケットボール部インターハイ西部地区大会9位（県大会出場）。弓道部が西部地区大会個人戦女子2名、男子2名ともに県大会出場。サッカー部が高校総体静岡県大会西部地区大会決勝トーナメント出場。水泳部が西部地区男子総合6位、女子総合5位、個人・リレー等24種目で入賞、合計35種目（県大会出場）。男女リレー5種目、個人1種目（東海大会出場）</p> <p>文化部ではダンス部がマイナビHIGH SCHOOL COMPETITION（両国国技館出場）。高校ストリートダンス選手権2025決勝大会 審査員特別賞受賞、高校ダンス部コンテスト in 磐田2025優勝。第18回日本高校ダンス部選手権（全国大会出場）。全日本高校ストリートダンスクライマックス2025FINAL出場。ビジネス計算部が第72回全国ビジネス計算競技大会出場。吹奏楽部が各種コンサートで演奏。浜松基地納涼の夕べにて演奏。第66回静岡県吹奏楽コンクール高等学校西部地区大会銀賞。美術部が高総合文化祭美工専門部展入選、奨励賞2名、特選1名。各イベントでのポスターデザイン、チラシ作成。書道部が各イベントへの書道パフォーマンス参加。全国書画展覧会特選2名、奨励賞6名。硬筆書写検定準2級合格。</p>

5 教職員について

(1) 前年度異動状況の増減

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員							臨時・会計年度任用職員					合 計	
	教育職員			行政職員				本 務 計	教 諭	非 常 勤 講 師	非 常 勤 嘱 託 員	部 活 動 支 援 員		小 計
	校 長	教 諭	小 計	事 務 長	主 査	小 計								
転出者		6	6	1	1	2	8	2				2	10	
退職者	1	4	5				5	1	3	1		5	10	
再任用(退職)		2	2				2						2	
転入者	1	7	8	1	2	3	11						11	
新任者		2	2				2	1	4	1	1	7	9	
再任用(新任)		4	4				4						4	
差引増減		1	1		1	1	2	△2	1		1		2	

(令和7年8月31日現在)

(2) 現員数

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員											臨時・会計年度任用職員							合 計		
	教育職員							行政職員				本 務 計	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	非 常 勤 嘱 託 員	非 常 勤 労 務 職 員		部 活 動 支 援 員	小 計
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 査	主 任	小 計										
男	1	1	1	34			37	1	1	1	3	40	2			4		3	1	10	50
女				17	2	3	22		1	1	2	24		1	1	3				5	29
計	1	1	1	51	2	3	59	1	2	2	5	64	2	1	1	7		3	1	15	79

※再任用教諭：週 19 時間 25 分 5 人 週 38 時間 45 分 3 人

(3) 健康管理について

ア 令和6年度の目標と成果

労働安全衛生法、学校保健安全法等に基づき、年齢に応じて必要な健康診断をすべての職員が受診し、疾病の早期発見、早期治療に努める。

また、職員安全衛生委員会では、委員により校内や学校敷地内での危険箇所の点検を行い改善の指針とした。

イ 令和7年度の目標

労働安全衛生法、学校保健安全法等に基づき、年齢に応じて必要な健康診断をすべての職員が受診し、疾病の早期発見、早期治療に努める。

また、職員安全衛生委員会では、委員により校内や学校敷地内での危険箇所の点検を行い改善の指針とする。

(4) 教職員の研修について

ア 令和6年度の目的、内容及び成果、課題

昨年度に引き続き、教師として絶えず資質の向上に努めるため、以下の研修を実施した。

	研修の目的	研修内容及び成果	課題
a	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に適切な対処ができるよう、救急法の正しい知識と技術を身に付ける。 ・AED、エピペンへの理解と対応力の向上を図る。 	職員研修会の開催 期日：5月21日（火） 内容：職員事故対応研修（上石田消防署職員講師） ※エピペン4月5日（金）実施 AED 5月17日（火）実施	昨年度より継続実施。多様化かつ高度化する救急法について、今後も継続した研修が必要である。
b	教職員が意識を高く持ち、授業における指導技術の向上を図る。	授業公開週間の開催（計2回） 6月11日（火）～6月21日（金） 10月22日（火）～11月1日（金）実施 成果：若手、ベテラン教員相互の授業技術向上を目的とし、教科を越えて授業を参観し、授業改善のための意見交換を行った。	全ての教員が常に指導力向上の意識を持ち、相互参観をしやすいような雰囲気づくりが必要である。
c	学習指導要領が改訂され、基本的な変更点、履修順序の留意点や学習評価の在り方を再確認し、本校の新教育課程編成に対応すべき資質を養う。	各教科で実施 内容：「教育課程説明会報告」「観点別評価の振り返り」 各教科における観点別評価の取組事例発表を実施した。	各教科の観点別評価の在り方・共通理解が喫緊の課題となる。引き続き来年度に向けて、改善を図っていく。
d	クラスや部活動等、人との関わりについて難しさを抱える生徒が解決の糸口を掴み、今後充実した学校生活を送るための一助となることを目的とする	定期訪問における研修 期日：5月24日（金） 「発達支持的な生徒指導」に関する研修を行い、共通理解を図った。 職員研修会の開催 期日：10月2日（水） 内容：「(スポーツのチームビルディングを生かした) 仲間とうまくやっていく方法」について、静岡産業大学の木村駿介先生による講話を実施。	支える指導への転換を日常の教育活動で実践していくことを通して、教員のスキルを高めていく必要がある。
e	不祥事根絶を目的とし、教職員のコンプライアンス推進をはかるための研修を実施する。	定例の職員会議の最後にあらゆるテーマで不祥事根絶に関わる研修を実施する。若手教員によるスピーチを9月から実施し、若手教員が振り返ることはもとより、他の教員が教職への使命や誇りを高める機会とした。	限られた時間の中でいかに効果的な研修となるよう企画していくかが課題。

イ 令和7年度の目的、内容及び成果、課題

教師として絶えず資質の向上に努めるため、校内研修を通し、知識や教養の幅を広げ、頼もしい教職員としての能力を育成するための研修を実施する。

	研修の目的	研修内容及び成果	課題
a	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に適切な対処ができるよう、救急法の正しい知識と技術を身に付ける。 ・AED、エピペンへの理解と対応力の向上を図る。 	職員研修会の開催 期日：5月21日（水） 内容：職員事故対応研修（上石田消防署職員講師） ※エピペン4月4日（金）実施	昨年度より継続実施。多様化かつ高度化する救急法について、今後も継続した研修が必要である。
b	教職員が意識を高く持ち、授業における指導技術の向上を図る。	授業公開週間の開催（計2回） 6月2日（月）～6月27日（金） 10月20日（月）～10月31日（金） 予定 成果：若手、ベテラン教員相互の授業技術向上を目的とし、教科を越えて授業を参観し、授業改善のための意見交換を行う。	全ての教員が常に指導力向上の意識を持ち、相互参観をしやすいような雰囲気づくりが必要である。「問い」の設定や「アウトプット」を取り入れた授業を進めるよう改善していく。
c	学習指導要領が改訂され、基本的な変更点、履修順序の留意点や学習評価の在り方を再確認し、本校の新教育課程編成に対応すべき資質を養う。	各教科で実施 内容：「教育課程説明会報告」「観点別評価の振り返り」 各教科において、観点別評価の改善を進める。	各教科の観点別評価の在り方・共通理解が喫緊の課題となる。引き続き来年度に向けて、改善を図っていく。
d	クラスや部活動等、人との関わりについて難しさを抱える生徒が解決の糸口を掴み、今後充実した学校生活を送るための一助となることを目的とする	人権感覚を養う研修（年3回） 人権感覚チェックシートを活用して各自振り返るとともに、各自の目標を立て宣言することを通して、職員全体で人権感覚を養うことを目指す。 定期訪問による研修 期日：9月5日（金） 「発達支持的な生徒指導」の研修を通して、スキルアップを図る。	研修を通して「指導観」の転換を図り、学校全体の文化を変革していく必要がある。
e	不祥事根絶を目的とし、教職員のコンプライアンス推進をはかるための研修を実施する。	定例の職員会議の最後にあらゆるテーマで不祥事根絶に関わる研修を実施する。昨年度に引き続き、若手教員によるスピーチを実施し、若手教員が振り返ることはもとより、他の教員が教職への使命や誇りを高める機会とする。	限られた時間の中でいかに効果的な研修となるよう企画していくかが課題。

6 防災対策について

(1) 令和6年度の目的及び内容、成果、課題

	目的及び内容	成果	課題
a	第1回防災訓練の実施 期日：7月18日（木） 対象：全校生徒及び職員 目的：救急搬送訓練	自衛隊員70人に来校していただき、救急搬送訓練を実施した。一人搬送、二人搬送等について指導を受け、実際に体験した。	初めての試みであったが、生徒は意欲的に参加し、大きな成果をあげた。
b	第2回防災訓練の実施 期日：9月2日（月） 対象：全校生徒及び職員 目的：地震及びそれに伴う火災を想定した避難訓練	※第1回防災訓練が実施できず、時期も近いこともあり中止。	例年、7月に実施できた場合は中止していることから、訓練時期の再考をしたい。
c	第3回防災訓練の実施 期日：12月1日（日） 対象：全校生徒及び職員 目的：地域防災訓練への参加	居住区で実施される地域防災訓練に、生徒、職員とも参加するようメール配信等で積極的に呼び掛けた。また、教職員の積極的な参加も促した。	
d	第4回防災訓練の実施 期日：12月19日（木） 対象：全校生徒及び職員 目的：体験型訓練による防災意識の高揚	生徒が体験できる参加型の防災訓練を実施した。 1年：救助袋脱出訓練 2年：消火器体験 3年：煙体験	

(2) 令和7年度の目的及び内容、成果、課題

	目的及び内容	成果	課題
a	第1回防災訓練の実施 期日：7月17日（木） 対象：全校生徒及び職員 目的：災害時や緊急時に想像力を働かせて冷静な判断ができるように防災グッズ仕分けゲームを実施。また、避難経路の確認を行う。	グループごとにもしもの際に備える防災グッズを考えさせることを通して、多くの気づきが得られたようである。選定理由も考えさせ、全体で共有したことで、さらに考えを深めることができた。また、避難経路の確認は素早く適切に実施できた。	初めての試みであったが、生徒は意欲的に参加し、大きな成果をあげた。避難後の教職員の人員確認が課題である。
b	第2回防災訓練の実施（予定） 期日：12月7日（日） 対象：全校生徒及び職員 目的：地域防災訓練への参加	居住区で実施される地域防災訓練に、生徒、職員とも参加するようメール配信等で積極的に呼び掛ける。また、教職員の積極的な参加も促す。	
c	第3回防災訓練の実施（予定） 期日：12月18日（木） 対象：全校生徒及び職員 目的：体験型訓練による防災意識の高揚	生徒が体験できる参加型の防災訓練を実施予定。 1年：救助袋脱出訓練 2年：消火器体験 3年：煙体験	

7 学校開放について

コロナ禍前以降、利用日数、利用延べ人数ともに増加傾向にある。今後も多数の利用が見込めると考える。

(1) 令和6年度

施設名	運動場	体育館	プール
種目名	サッカー	バスケットボール、サッカー、水球	水球
利用日数	113日	47日	8日
利用延べ人数	4,294人	823人	120人
利用者負担電気料	148,725円		

(2) 令和7年度

(令和7年8月31日現在)

施設名	運動場	体育館
種目名	サッカー	バスケットボール、サッカー
利用日数	52日	36日
利用延べ人数	2,062人	741人
利用者負担電気料	62,533円	

□□□□□□□□□□

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する事	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条 第60条） 学校保健安全法（第5条） 理科教育振興法（第11条） 産業教育振興法（第18条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法施行令 学校教育法施行規則 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領
2 学校の管理・運営に関する事	学校教育法（第12条、第60条、第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第21条、第22条、第23条、第24条） 学校保健安全法（第5条、第15条、第27条） 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第3条～第7条） 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県立学校管理規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱

□□□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

1 面積及び所有区分

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳			摘 要
		県 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	
学 校 敷 地	37,151.84	4,048.46	33,103.38		
内 訳	校 舎 敷 地	17,310.32	17,310.32		
	運 動 場 敷 地	19,841.52	4,048.46	15,793.06	
校 舎	<u>建 3,040.94</u> 延 9,196.33	<u>3,040.94</u> 9,196.33			
体 育 館	<u>建 1,326.44</u> 延 2,675.68	<u>1,326.44</u> 2,675.68			武道場含む
その他の建物	<u>建 1,814.51</u> 延 2,054.78	<u>1,529.81</u> 1,770.08		弓道場他 <u>284.70</u> 284.70	
生 活 館	<u>建 254.49</u> 延 698.48			<u>254.49</u> 698.48	
プ ー ル	400.00	400.00			25m×16m 8コース

□□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和 7年8月31日現在)

学年	学科別 区分		普 通 科				情報ビジネス科				総合ビジネス科				合 計			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		160	73	81	154	40	20	10	30	80	23	40	63	280	116	131	247
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		0	0	0		0	1	1		0	0	0		0	1	1
	現在			73	81	154		20	9	29		23	40	63		116	130	246
2年	入学者		160	74	90	164	40	20	21	41	80	20	62	82	280	114	173	287
		増加		0	0	0		0	0	0		(1)	0	(1)		(1)	0	(1)
		減少		2	4	6		0	1	1		0	4	4		2	9	11
	2年時当初			72	86	158		20	20	40		21	58	79		113	164	277
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		0	1	1		1	1	2		1	0	1		2	2	4
	現在			72	85	157		19	19	38		20	58	78		111	162	273
3年	入学者		160	77	78	155	80	42	33	75	80	25	39	64	320	144	150	294
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		2	3	5		3	2	5		0	2	2		5	7	12
	2年時当初			75	75	150		39	31	70		25	37	62		139	143	282
		増加		1	0	1		0	0	0		0	0	0		1	0	1
		減少		5	0	5		0	2	2		(1)1	1	(1)3		(1)6	3	(1)9
	3年時当初			71	75	146		39	29	68		23	36	59		133	140	273
		増加		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0
		減少		0	0	0		1	0	1		0	0	0		1	0	1
現在			71	75	146		38	29	67		23	36	59		132	140	272	
合 計			216	241	457		77	57	134		66	134	200		359	432	791	

□□□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和 3 年 度				令和 4 年 度			
学 科 別		普 通 科	情 報 ビジネス科	総 合 ビジネス科	計	普 通 科	情 報 ビジネス科	総 合 ビジネス科	計
生徒定員(A)		120	80	80	280	160	80	80	320
募集者数(B)		120	80	80	280	160	80	80	320
志願者数	男	54	41	30	125	63	39	25	127
	女	72	43	52	167	97	34	52	183
	計(C)	126	84	82	292	160	73	77	310
受検者数	男	54	41	30	125	63	39	25	127
	女	72	43	52	167	96	34	52	182
	計(D)	126	84	82	292	159	73	77	309
合格者数	男	53	39	30	122	62	39	25	126
	女	70	43	50	163	96	34	52	182
	計(E)	123	82	80	285	158	73	77	308
志願倍率(C)/(B)		1.05	1.05	1.03	1.04	1.00	0.91	0.96	0.97
受検倍率(D)/(B)		1.05	1.05	1.03	1.04	0.99	0.91	0.96	0.97
入学者数	男	52	39	30	121	62	39	25	126
	女	70	43	50	163	96	34	52	182
	計(F)	122	82	80	284	158	73	77	308
充 足 率(F)/(A)		1.02	1.03	1.00	1.01	0.99	0.91	0.96	0.96

令和 5 年 度				令和 6 年 度				令和 7 年 度			
普通科	情 報 ビジネス科	総 合 ビジネス科	計	普通科	情 報 ビジネス科	総 合 ビジネス科	計	普通科	情 報 ビジネス科	総 合 ビジネス科	計
160	80	80	320	160	40	80	280	160	40	80	280
160	80	80	320	160	40	80	280	160	40	80	280
(0)	(0)	(1)	(1)					(3)		(1)	(4)
80	42	26	148	76	20	26	122	70	20	22	112
(1)	(1)	(0)	(2)							(3)	(3)
78	32	39	149	93	21	65	179	81	10	37	128
(1)	(1)	(1)	(3)					(3)	(0)	(4)	(7)
158	74	65	297	169	41	91	301	151	30	59	240
(0)	(0)	(1)	(1)					(3)		(1)	(4)
78	42	25	145	76	20	25	121	70	20	22	112
(1)	(1)	(0)	(2)							(3)	(3)
78	32	39	149	93	21	65	179	81	10	37	128
(1)	(1)	(1)	(3)					(3)	(0)	(4)	(7)
156	74	64	294	169	41	90	300	151	30	59	240
(0)	(0)	(0)	(0)					(3)		(1)	(4)
77	42	25	144	74	20	20	114	70	20	22	112
(0)	(1)	(0)	(1)							(3)	(3)
78	32	39	149	90	21	62	173	81	10	37	128
(0)	(1)	(0)	(1)					(3)	(0)	(4)	(7)
155	74	64	293	164	41	82	287	151	30	59	240
0.99	0.93	0.81	0.93	1.06	1.03	1.14	1.08	0.94	0.75	0.74	0.86
0.98	0.93	0.80	0.92	1.06	1.03	1.13	1.07	0.94	0.75	0.74	0.86
77	42	25	144	74	20	20	114	73	20	23	116
78	33	39	150	90	21	62	173	81	10	40	131
155	75	64	294	164	41	82	287	154	30	63	247
0.97	0.94	0.80	0.92	1.03	1.03	1.03	1.03	0.96	0.75	0.79	0.88

□□□□□□□□

卒 業 生 の 動 向 調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普 通 科			情 報 ビジネス科			総 合 ビジネス科			(計)		
		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒 業 生 徒 数		145	116	153	82	80	66	78	74	73	305	270	292
内 訳	(進学志願者)	120	88	112	41	45	21	36	44	25	197	177	158
	進 学												
	大学・短大	54	38	36	5	10	5	4	7	2	63	55	43
	専修・各種学校等	61	48	74	34	35	16	32	37	23	127	120	113
	小 計	115	86	110	39	45	21	36	44	25	190	175	156
	就 職 者	25	29	42	41	34	45	42	30	47	108	93	134
	自 営 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進 学 準 備 者	5	1	1	2	1	0	0	0	0	7	2	1
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
合 計		145	116	153	82	80	66	78	74	73	305	270	292

2 求人状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年8月末
就 職 希 望 者 数	128	87	135	111
求 人 数	372	402	422	410
求 人 倍 率	2.9	4.6	3.1	3.7

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別	普通科	情報ビジネス科	総合ビジネス科	(計)
卒 業 生 徒 数	153	66	73	292
全商ビジネス計算実務検定1級(珠算)	1	1		2
全商ビジネス計算実務検定1級(電卓)	3	8	5	16
全商ビジネス計算実務検定2級(電卓)		4	15	19
全商ビジネス計算実務検定3級(電卓)	3	51	52	106
全商ビジネス実務検定3級ビジネス計算部門	3	3	3	9
全商ビジネス計算検定1級ビジネス計算部門			1	1
全商ビジネス計算検定2級ビジネス計算部門			1	1
全商ビジネス計算検定1級普通(電卓)	2	4	10	16
全商ビジネス計算検定2級普通(電卓)		1	5	6
全商ビジネス計算検定3級普通(電卓)	4	57	65	126
全商簿記実務検定1級(総合)	1	17	7	25
全商簿記実務検定1級会計	2	19	8	29
全商簿記実務検定1級原価計算	2	17	8	27
全商簿記実務検定2級	3	44	40	87
全商簿記実務検定3級	12	62	65	139
全商情報処理検定1級ビジネス情報部門	1	20	4	25
全商情報処理検定2級ビジネス情報部門	1	54	41	96
全商情報処理検定1級プログラミング部門		8		8
全商情報処理検定2級プログラミング部門		49		49
全商情報処理検定3級		57	60	117
全商商業経済検定1級(マケ・ビ経A)		3		3
全商商業経済検定1級(マケ・ビ法)			9	9
全商商業経済検定1級(商流・ビジ法)			2	2
全商商業経済検定1級(商流・マケ)		1	1	2
全商商業経済検定2級(ビジネス法規)			2	2
全商商業経済検定2級(マーケティング)		29	32	61
全商ビジネス文書実務検定1級		8	2	10
全商ビジネス文書実務検定2級	3	8	14	25
全商ビジネス文書実務検定1級速度部門	1	4		5
全商ビジネス文書実務検定2級速度部門		5	3	8
全商ビジネス文書実務検定1級文書部門		1	8	9
全商ビジネス文書実務検定2級文書部門		1	2	3
全商ビジネスコミュニケーション検定		13	50	63
全商財務諸表分析		4	2	6
全商財務会計			2	2
日商簿記検定2級		5	5	10
日商簿記検定3級	3	2	2	7
全経電卓計算能力検定六段		2		2
全経電卓計算能力検定五段		1		1
全経電卓計算能力検定三段		1		1
全経電卓計算能力検定1級			2	2
ビジネス能力検定3級	1			1
基本情報技術者試験		1		1
日情日本語ワープロ検定1級		3		3
日情日本語ワープロ検定準1級		2		2
日情日本語ワープロ検定2級	2	4	1	7
日情日本語ワープロ検定準2級	5	4	5	14
日情日本語ワープロ検定3級	58	51	53	162
日情日本語ワープロ検定4級		1	1	2
日情情報処理技能検定表計算1級		7	2	9
日情文書デザイン検定1級	3	6	1	10
日情文書デザイン検定3級	1			1
日情ホームページ作成検定1級		4	9	13
日情プレゼンテーション作成検定1級		2		2
日情文章入力スピード認定(日本語)1級		2		2
日情文章入力スピード認定(日本語)準1級		1		1
日情文章入力スピード認定(日本語)2級	1			1
日情文章入力スピード認定(英語)初段		1		1
日情文章入力スピード認定(英語)1級	2		1	3
ITパスポート		5		5
日漢日本漢字能力検定2級	6	1	2	9
日漢日本漢字能力検定準2級	15	2	2	19
日漢日本漢字能力検定3級	28	1	1	30
日書硬筆書写技能検定準2級	2			2
日書硬筆書写技能検定3級	20	14	21	55
実用英語技能検定2級	1			1
実用英語技能検定準2級	3		3	3
実用英語技能検定3級	1			1
合 計	194	676	627	1497

□□□□□□□

生 徒 の 状 況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	湖西市	その他 (県内)	その他 (県外)	合 計
生徒数	755	24	0	9	3	791
構成比%	95.5	3.0	0.0	1.1	0.4	100

(2) 通学方法 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

区 分	自 転 車	バ ス	電 車	徒 歩	そ の 他	合 計
生徒数	737	17	21	11	5	791
構成比%	93.2	2.1	2.7	1.4	0.6	100

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年8月31日現在) (単位:人)

区 分	運 動 部	文 化 部	未加入者	計	
部(クラブ)数	15	13		28	
男 子	1 年	82	33	1	116
	2 年	70	31	10	111
	3 年	92	24	16	132
	計(A)	244	88	27	359
	構成比	68.0	24.5	7.5	100
女 子	1 年	52	78	0	130
	2 年	56	79	27	162
	3 年	64	44	32	140
	計(B)	172	201	59	432
	構成比	39.8	46.5	13.7	100
合 計	(A+B)	416	289	86	791
	構成比	52.6	36.5	10.9	100

空 白

□□□□□□□

(全日制)

授 業 料 収 納

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7	40	1,188,000					40	1,188,000
				32	950,400	38	1,128,600	70	2,079,000
	8								
	10								
	11								
計	40	1,188,000	32	950,400	38	1,128,600	110	3,267,000	
二期	8								
	9								
	10	49	2,425,500					49	2,425,500
				26	1,287,000	48	2,376,000	74	3,663,000
	11	▲ 1	▲ 49,500			▲ 1	▲ 49,500	▲ 2	▲ 99,000
	12	▲ 1	▲ 49,500				▲ 19,800	▲ 1	▲ 69,300
	1								
	2								
計	47	2,326,500	26	1,287,000	47	2,306,700	120	5,920,200	
三期	12								
	1	47	1,861,200					47	1,861,200
				25	990,000	43	1,702,800	68	2,692,800
	2								
	3								
計	47	1,861,200	25	990,000	43	1,702,800	115	4,554,000	
合計	134	5,375,700	83	3,227,400	128	5,138,100	345	13,741,200	

状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異動者等の状況
納期内収納額	収納率	納期後 収納額	収 入 未済額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額 = 3,267,000 (110人 × 9,900円 × 3月)
				B. 収納権利増減(▲)額 = 0 (内訳)
1,158,300	97.5		29,700	
1,930,500	92.9		178,200	
		89,100	89,100	
		29,700	59,400	
		59,400	0	
3,088,800	94.5	178,200	0	C. 収納必要額A(±)B = 3,267,000
				A. 期首収納権利発生額 = 5,940,000 (120人 × 9,900円 × 5月)
				B. 収納権利増減(▲)額 = ▲ 19,800 (内訳) 3年： 1人 × 9,900円 × 2月 10~11月 就学支援金認定
2,326,500	95.9		99,000	
3,336,300	91.1		425,700	
▲ 99,000		198,000	326,700	
▲ 69,300		79,200	316,800	
		99,000	217,800	
		49,500	168,300	
5,494,500	92.8	425,700	0	C. 収納必要額A(±)B = 5,920,200
				A. 期首収納権利発生額 = 4,554,000 (115人 × 9,900円 × 4月)
1,821,600	97.9		39,600	B. 収納権利増減(▲)額 = 0
2,574,000	95.6		158,400	
		79,200	79,200	
			79,200	
4,395,600	96.5	79,200	79,200	C. 収納必要額A(±)B = 4,554,000
12,978,900	94.5	683,100	79,200	D. 収納必要額 = 13,741,200

□□□□□□□□

(全日制)

授 業 料 収 納

期別	月別	調 定 の 状 況									
		1年		2年		3年		卒業生		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
	5			1	39,600			1	39,600	2	79,200
	6										
	7										
	計	0	0	1	39,600	0	0	1	39,600	2	79,200
二期	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三期	12										
	1										
	2										
	3										
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	1	39,600	0	0	1	39,600	2	79,200

状 況 調

(令和7年度) (令和7年8月31日現在)

収 納 の 状 況				異動者等の状況
納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未済額	
円	%			円
				A. 期首収納権利発生額＝ 0 (0人 × 9,900円 × 3月)
0	0.0	39,600	39,600	B. 収納権利増減(▲)額＝ 79,200
			39,600	〈内訳〉 R6年度Ⅲ期授業料収入未済 繰越調定 9,900円 × 4月 × 2人 = 79,200円
		39,600	0	
0		79,200	0	C. 収納必要額 A(±) B＝ 79,200
				A. 期首収納権利発生額＝ (× 9,900円 × 5月)
				B. 収納権利増減(▲)額＝ 0
				〈内訳〉
0		0	0	C. 収納必要額 A(±) B＝ 0
				A. 期首収納権利発生額＝ (× 9,900円 × 4月)
				B. 収納権利増減(▲)額＝ 0
				〈内訳〉
0		0	0	C. 収納必要額 A(±) B＝ 0
0	0.0	79,200	0	D. 収納必要額＝ 79,200

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	103,245,310	102,483,010	683,100
項 01使用料	101,586,960	100,824,660	683,100
目 09教育使用料	101,586,960	100,824,660	683,100
02全日制高等学校授業料	101,583,900	100,821,600	683,100
08庁舎等使用料	3,060	3,060	0
項 02手数料	1,658,350	1,658,350	0
目 07教育手数料	1,658,350	1,658,350	0
01高等学校入学料	1,621,550	1,621,550	0
02証明書発行手数料	32,400	32,400	0
04高等学校全日制入学検 定料	4,400	4,400	0
款 10財産収入	283,323	283,323	0
項 01財産運用収入	283,213	283,213	0
目 01財産貸付収入	283,213	283,213	0
03建物貸付料	283,213	283,213	0
項 02財産売払収入	110	110	0
目 02物品売払収入	110	110	0
01不用品売払収入	110	110	0
備品	110	110	0
款 14諸収入	1,913,904	1,897,219	15,585
項 01延滞金、加算金及び過 料等	1,100	0	0
目 01延滞金	1,100	0	0
01延滞金	1,100	0	0
項 07雑入	1,912,804	1,897,219	15,585
目 02雑入	1,912,804	1,897,219	15,585
87保険料負担金	877,199	877,199	0
保険料負担金	532,825	532,825	0

執 行 状 況 調

(令和 6年度)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	79,200	0	79,200	99.9	99.2
0	79,200	0	79,200	99.9	99.2
0	79,200	0	79,200	99.9	99.2
0	79,200	0	79,200	99.9	99.2
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	1,100	0	1,100	99.9	99.1
0	1,100	0	1,100	-	-
0	1,100	0	1,100	-	-
0	1,100	0	1,100	-	-
0	0	0	0	100.0	99.1
0	0	0	0	100.0	99.1
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0

□□□□□

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
非常勤職員	341,812	341,812	0
臨時職員	2,562	2,562	0
90雑収	1,035,605	1,020,020	15,585
計	105,442,537	104,663,552	698,685

(令和 6年度)

不納欠損額 D	収 入 未 済 額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	98.4
0	80,300	0	80,300	99.9	99.2

□□□□□

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	21,971,060	21,891,860	79,200
項 01使用料	20,555,460	20,476,260	79,200
目 10教育使用料	20,555,460	20,476,260	79,200
02全日制高等学校授業料	(20,473,200)	(20,473,200)	(0)
08庁舎等使用料	20,552,400	20,473,200	79,200
項 02手数料	3,060	3,060	0
目 09教育手数料	1,415,600	1,415,600	0
01高等学校入学料	1,415,600	1,415,600	0
02証明書発行手数料	1,401,200	1,401,200	0
01高等学	14,400	14,400	0
款 10財産収入	283,213	283,213	0
項 01財産運用収入	283,213	283,213	0
目 01財産貸付収入	283,213	283,213	0
03建物貸付料	283,213	283,213	0
款 14諸収入	994,941	963,463	1,194
項 01延滞金、加算金及び過料等	2,400	1,300	1,100
目 01延滞金	2,400	1,300	1,100
01延滞金	(1,300)	(1,300)	(0)
02延滞金	2,400	1,300	1,100
項 07雑入	992,541	962,163	94
目 02雑入	992,541	962,163	94
90保険料負担金	260,931	260,931	0
保険料負担金	114,676	114,676	0
非常勤職員	146,255	146,255	0
93雑収	731,610	701,232	94
雑収	719,810	689,432	94
古新聞・雑誌	11,800	11,800	0
計	23,249,214	23,138,536	80,394

□□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 8 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
入学検定料	241	0

□□□□□

過年度分収入未済額調

(令和 7 年 8 月 31 日現在)

年度 \ 区分	全日制高等学校授業料		延滞金			
	件数	収入未済額 円	件数	収入未済額 円		円
令和元年度 以前 (A)						
令和 2 年度						
令和 3 年度						
令和 4 年度						
令和 5 年度						
令和 6 年度	2	79,200	1	1,100		
計	2	79,200	1	1,100		
摘要① (滞納処分の停止 等の理由)						
摘要② (不能欠損処分の 件数、額)						
摘要③ (A欄のうち、1 件10万円以上の 内訳)						

□□□□□

現金出納調

(令和 6年度)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,653,950	円 1,653,950	円 1,653,950	円 0	円 1,653,950 374 枚	円 1,653,950 80 枚
計	0	1,653,950	1,653,950	1,653,950	0	1,653,950 374 枚	1,653,950 80 枚

□□□□□

現金出納調

(令和 7年度)

(令和 7年 8月31日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,415,600	円 1,415,600	円 1,415,600	円 0	円 1,415,600 284 枚	円 1,415,600 36 枚
雑入	0	11,800	11,800	11,800	0	11,800 2 枚	11,800 2 枚
計	0	1,427,400	1,427,400	1,427,400	0	1,427,400 286 枚	1,427,400 38 枚

□□□□□□□

預 金 調

(令和7年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
静岡銀行市野支店	無利息型 普通預金	0365137	静岡県立浜松東高等学校 資金前渡者 校長 鈴木真一	0	給与法定外控除
静岡銀行市野支店	無利息型 普通預金	0366163	(自振口) 静岡県立浜松東高等学校 資金前渡者 校長 鈴木真一	0	公共料金等引落
静岡銀行市野支店	普通預金	0586374	静岡県立浜松東高等学校 奨学給付金代理受領者 校長 鈴木真一	0	公奨学給付金等 代理受領用
残 高 合 計				0	

□□□□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年8月31日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和 6 年 度						令和 7 年 度						差引現在高	摘 要	
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	1 円券	0	0	16	16	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	公 務 連 絡 用
	10 円券	1	10	36	360	37	370	0	0	0	0	0	0	0	0	
	30 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	1	30	0	0	
	50 円券	0	0	10	500	10	500	0	0	0	0	0	0	0	0	
	84 円券	47	3,948	0	0	47	3,948	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100 円券	0	0	20	2,000	20	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	
	110 円券	0	0	1	110	1	110	0	0	1	110	1	110	0	0	
	120 円券	0	0	1	120	1	120	0	0	0	0	0	0	0	0	
	180 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	180	1	180	0	0	
300 円券	0	0	0	0	0	0	0	0	1	300	1	300	0	0		
計		/	3,958	/	3,106	/	7,064	/	0	/	620	/	620	/	0	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 541,382	円 541,382	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	21,578	21,578	0	
所得税	12,448	198,973	196,649	14,772	
縣市町村民税	0	33,000	27,500	5,500	
保証金	86,352	0	0	86,352	
計	98,800	794,933	787,109	106,624	

□□□□□

歳入歳出外現金調

(令和 7年度)

(令和 7年 8月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 234,952	円 234,952	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	1,966	1,966	0	
所得税	14,772	131,095	126,850	19,017	
縣市町村民税	5,500	48,300	41,400	12,400	
保証金	86,352	0	0	86,352	
計	106,624	416,313	405,168	117,769	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	145,106,380	145,106,380	0	
項 02 教育委員会費	3,067,875	3,067,875	0	
目 02 教育総務費	35,317	35,317	0	
01 報酬	19,237	19,237	0	
03 非常勤職員報酬	19,237	19,237	0	
08 旅費	16,080	16,080	0	
02 普通旅費	16,080	16,080	0	
目 03 教育管理費	2,912,558	2,912,558	0	
08 旅費	6,007	6,007	0	
02 普通旅費	6,007	6,007	0	
10 需用費	2,189,100	2,189,100	0	
01 その他の需用費	2,189,100	2,189,100	0	
13 使用料及び賃借料	46,451	46,451	0	
14 工事請負費	671,000	671,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	136,289,889	136,289,889	0	
目 01 高等学校総務費	18,499,394	18,499,394	0	
01 報酬	10,514,558	10,514,558	0	
03 非常勤職員報酬	10,514,558	10,514,558	0	
03 職員手当等	2,359,840	2,359,840	0	
01 その他の職員手当等	2,359,840	2,359,840	0	
04 共済費	4,496,686	4,496,686	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,496,686	4,496,686	0	
08 旅費	1,128,310	1,128,310	0	
01 その他の旅費	451,306	451,306	0	
02 普通旅費	677,004	677,004	0	

□□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
目 02 高等学校管理費	117,790,495	117,790,495	0	
01 報酬	1,266,800	1,266,800	0	
03 非常勤職員報酬	1,266,800	1,266,800	0	
04 共済費	725	725	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	725	725	0	
07 報償費	18,000	18,000	0	
01 その他の報償費	18,000	18,000	0	
08 旅費	3,293,764	3,293,764	0	
01 その他の旅費	44,687	44,687	0	
02 普通旅費	3,249,077	3,249,077	0	
09 交際費	0	0	0	
10 需用費	9,184,260	9,184,260	0	
01 その他の需用費	9,180,938	9,180,938	0	
02 食糧費	3,322	3,322	0	
11 役務費	2,143,178	2,143,178	0	
12 委託料	1,439,438	1,439,438	0	
13 使用料及び賃借料	196,130	196,130	0	
17 備品購入費	0	0	0	
18 負担金、補助及び交付金	88,032,500	88,032,500	0	
19 扶助費	12,215,700	12,215,700	0	
項 07 特別支援学校費	322,300	322,300	0	
目 02 特別支援学校管理費	322,300	322,300	0	
12 委託料	322,300	322,300	0	
項 08 学校教育費	5,426,316	5,426,316	0	
目 01 高校教育費	4,663,898	4,663,898	0	
01 報酬	3,593,636	3,593,636	0	
03 非常勤職員報酬	3,593,636	3,593,636	0	
04 共済費	744,222	744,222	0	

□□□□□

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	744,222	744,222	0	
07 報償費	184,380	184,380	0	
01 その他の報償費	184,380	184,380	0	
08 旅費	56,740	56,740	0	
01 その他の旅費	54,060	54,060	0	
02 普通旅費	2,680	2,680	0	
10 需用費	47,970	47,970	0	
01 その他の需用費	47,970	47,970	0	
11 役務費	26,950	26,950	0	
13 使用料及び賃借料	10,000	10,000	0	
目 04 健康体育費	762,418	762,418	0	
07 報償費	315,000	315,000	0	
01 その他の報償費	315,000	315,000	0	
08 旅費	6,978	6,978	0	
01 その他の旅費	1,560	1,560	0	
02 普通旅費	5,418	5,418	0	
11 役務費	440,440	440,440	0	
計	145,106,380	145,106,380	0	

□□□□□

歳出予算執行状況調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12 教育費	133,680,166	35,316,739	98,363,427	
項 02 教育委員会費	4,966,629	912,350	4,054,279	
目 03 教育管理費	4,846,629	912,350	3,934,279	
08 旅費	40,000	13,640	26,360	
02 普通旅費	40,000	13,640	26,360	
10 需用費	2,033,000	803,010	1,229,990	
01 その他の需用費	2,033,000	803,010	1,229,990	
12 委託料	159,500	95,700	63,800	
13 使用料及び賃借料	44,129	0	44,129	
14 工事請負費	2,570,000	0	2,570,000	
目 04 教育厚生費	120,000	0	120,000	
01 報酬	120,000	0	120,000	
03 非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05 高等学校費	121,890,340	31,770,706	90,119,634	
目 01 高等学校総務費	16,901,000	6,388,264	10,512,736	
01 報酬	8,692,000	3,506,697	5,185,303	
03 非常勤職員報酬	8,692,000	3,506,697	5,185,303	
03 職員手当等	2,956,000	1,366,718	1,589,282	
01 その他の職員手当等	2,956,000	1,366,718	1,589,282	
04 共済費	4,496,000	1,051,864	3,444,136	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	4,496,000	1,051,864	3,444,136	
08 旅費	757,000	462,985	294,015	
01 その他の旅費	312,000	170,415	141,585	
02 普通旅費	445,000	292,570	152,430	
目 02 高等学校管理費	104,989,340	25,382,442	79,606,898	
01 報酬	212,000	160,604	51,396	
03 非常勤職員報酬	212,000	160,604	51,396	
04 共済費	3,000	0	3,000	

□□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 8月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07 報償費	56,000	0	56,000	
01 その他の報償費	56,000	0	56,000	
08 旅費	3,511,440	699,846	2,811,594	
01 その他の旅費	61,440	18,327	43,113	
02 普通旅費	3,450,000	681,519	2,768,481	
10 需用費	9,622,200	2,568,915	7,053,285	
01 その他の需用費	9,620,200	2,567,947	7,052,253	
02 食糧費	2,000	968	1,032	
11 役務費	2,221,500	1,068,421	1,153,079	
12 委託料	726,900	305,250	421,650	
13 使用料及び賃借料	197,000	83,006	113,994	
17 備品購入費	312,100	0	312,100	
18 負担金、補助及び交付金	88,127,200	20,496,400	67,630,800	
項 07 特別支援学校費	347,600	173,800	173,800	
目 02 特別支援学校管理費	347,600	173,800	173,800	
12 委託料	347,600	173,800	173,800	
項 08 学校教育費	6,475,597	2,459,883	4,015,714	
目 01 高校教育費	5,556,080	1,879,689	3,676,391	
01 報酬	4,260,000	1,637,587	2,622,413	
03 非常勤職員報酬	4,260,000	1,637,587	2,622,413	
04 共済費	706,000	167,940	538,060	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	706,000	167,940	538,060	
07 報償費	449,300	37,880	411,420	
01 その他の報償費	449,300	37,880	411,420	
08 旅費	50,780	3,744	47,036	
01 その他の旅費	50,780	3,744	47,036	
10 需用費	50,000	32,538	17,462	

□□□□□

一般会計

(令和 7年度)
(令和 7年 8月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の需用費	50,000	32,538	17,462	
11 役務費	30,000	0	30,000	
13 使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	
目 04 健康体育費	919,517	580,194	339,323	
01 報酬	280,000	112,000	168,000	
03 非常勤職員報酬	280,000	112,000	168,000	
04 共済費	2,167	0	2,167	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,167	0	2,167	
07 報償費	109,800	61,200	48,600	
01 その他の報償費	109,800	61,200	48,600	
08 旅費	120,000	2,744	117,256	
01 その他の旅費	120,000	2,744	117,256	
11 役務費	407,550	404,250	3,300	
計	133,680,166	35,316,739	98,363,427	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,439,438	
			特別支援学校費	特別支援学校管理費		322,300	
計					1,133,831	1,761,738	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		671,000	
計					2,365,000	671,000	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		0	
計					92,400	0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		88,032,500	
計					90,104,800	88,032,500	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					うち、6年度からの繰越額分	
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	95,700	0
			高等学校費	高等学校管理費	305,250	0
			特別支援学校費	特別支援学校管理費	173,800	0
計					574,750	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	20,496,400	0
計					20,496,400	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) プール浄化装置保守点検業務委託(26校分)	円 清化工業株式会社	円 998,800	円 998,800	円 -17,050	円 981,750	随契	R6.4.8 ~R6.12.27	R6.8.2 R7.1.20	円 499,400 482,350 981,750	プール循環装置保守点検	随契1号(少額) 浜松北、浜松西、浜松商業、浜松南、浜松湖東、浜松湖南、浜松江之島、浜松東、浜松工業、浜松城北工業、浜名、浜北西、天竜・春野校舎、天竜、浜松湖北・佐久間分校、浜松湖北、新居、湖西、浜松特支、浜松視覚特支、浜松聴覚特支、西部特支、浜北特支、天竜特支、浜名特支、浜松みをつくし特支
2	産業廃棄物(乾電池)収集運搬処分業務委託	株式会社大洋サービス	13,200	13,200	0	13,200	随契	R6.5.2 ~R7.3.31	R7.2.6	13,200	産業廃棄物処分	随契1号(少額)
3	産業廃棄物(乾電池)収集運搬処分業務委託	株式会社環吉	5,500	5,500	0	5,500	随契	R6.5.2 ~R7.3.31	R7.2.6	5,500	産業廃棄物収集運搬	随契1号(少額)
4	産業廃棄物処分業務委託(単価契約)	株式会社環吉	9,900円/㎡ 他	9,900円/㎡ 他	0	9,900円/㎡ 他	随契	R6.6.1 ~R7.3.31	R6.7.24 R6.11.15 R7.3.14 小計	19,800 9,900 39,600 69,300	産業廃棄物処分	随契1号(少額) 単価契約
5	産業廃棄物(薬品)収集運搬業務委託	日本産業廃棄物処理株式会社	47,498	47,498	0	47,498	随契	R6.11.25 ~R7.3.31	R7.1.20	47,498	産業廃棄物収集運搬	随契1号(少額)
6	産業廃棄物(薬品)処分業務委託	株式会社大洋サービス	17,490	17,490	0	17,490	随契	R6.11.25 ~R7.3.31	R7.1.20	17,490	産業廃棄物処分	随契1号(少額)
7	樹木(敷地東側27本)剪定業務委託	株式会社江間種苗園	553,080	550,000	0	550,000	随契	R7.1.10 ~R7.3.31	R7.4.7	550,000	樹木剪定	随契1号(少額)
8	産業廃棄物(一般)収集運搬業務委託	株式会社環吉	11,000	11,000	0	11,000	随契	R7.1.15 ~R7.3.31	R7.3.14	11,000	産業廃棄物収集運搬	随契1号(少額)
	事務関係計	8件								1,695,738		
9	(工事関係) 既存小規模建築物調査業務委託	(有)山口一級建築士事務所	66,000	66,000	0	66,000	随契	R6.12.1 ~R7.3.31	R7.1.31	66,000	建築物法適合調査	随契1号(少額)
	工事関係計	1件								66,000		
	合計									1,761,738		
参考1	可燃物収集運搬処分業務委託	環境保全(株)		収集運搬料 1校1回715円 処分料 1kg13.2円	0	収集運搬料 1校1回715円 処分料 1kg13.2円		R6.4.8 ~R7.3.31			可燃ごみ収集運搬処分	浜松大平台高等学校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		18,810,000	0	18,810,000		R6.4.1 ~R7.3.31			自動火災報知設備等消防設備保守点検	浜松湖北高等学校
参考3	汚水処理施設・浄化槽保守点検業務委託保守点検業務委託	管理事業(有)		3,524,400	0	3,524,400		R6.4.1 ~R7.3.31			尿浄化槽保守点検及び消毒薬補充	新居高等学校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト㈱		4,755,960	356,741	5,112,701		R6.4.1 ~R7.3.31			電気工作物保安点検	浜松城北工業高等学校
参考5	警備業務委託	セコム㈱		10,164,000	0	10,164,000		R1.10.1 ~R6.9.30			学校警備業務	浜松工業高等学校
参考6	警備業務委託	セコム㈱		14,256,000	0	14,256,000		R6.10.1 ~R11.9.30			学校警備業務	浜松工業高等学校
参考7	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	(有)山口一級建築士事務所		2,200,000	0	2,200,000		R6.11.22 ~R7.3.24			建築基準法12条点検	浜北西高等学校

□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年8月31日)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	プール浄化装置保守点検	清化工業株式会社	995,500	995,500	-37,400	958,100	随契	R7.4.10 ~R7.12.26	R7.7.31	479,050	プール循環装置保守点検	随契1号(少額) 浜松北、浜松西、浜松商業、浜松湖東、浜松湖南、浜松江之島、浜松東、浜松工業、浜松城北工業、浜名、浜北西、天竜、浜松湖北・佐久間分校、浜松湖北、新居、湖西、浜松特支、浜松視覚特支、浜松聴覚特支、西部特支、浜北特支、天竜特支、浜名特支、浜松みをつくし特支
2	産業廃棄物処分業務委託(単価契約)	株式会社環吉	9,900円/m ³	9,900円/m ³	0	9,900円/m ³	随契	R7.6.5 ~R8.3.31			産業廃棄物処分	随契1号(少額)
	事務関係計	2件								479,050		
	(工事関係)											
3	調査(石綿含有調査業務委託)	ユーロフイン日本総研(株)	159,500	95,700	0	95,700	随契	R7.7.14 ~R7.9.13	R7.8.12	95,700	建材有害物質調査	随契1号(少額)
	工事関係計	1件								95,700		
	合計									574,750		
参考1	可燃物収集運搬処分業務委託	環境保全(株)		収集運搬料 1校1回770円 処分料 1kg13.2円	0	収集運搬料 1校1回770円 処分料 1kg13.2円		R7.4.7 ~R8.3.31			可燃ごみ収集運搬処分	浜松大平台高等学校
参考2	消防用設備等保守点検業務委託	静岡県消防設備保守点検業協同組合		19,250,000	0	19,250,000		R7.4.1 ~R8.3.31			自動火災報知設備等消防設備保守点検	浜松湖北高等学校
参考3	汚水処理施設・浄化槽保守点検業務委託保守点検業務委託	管理事業(有)		3,916,770	0	3,916,770		R7.4.1 ~R8.3.31			し尿浄化槽保守点検及び消毒薬補充	新居高等学校
参考4	自家用電気工作物保安管理業務委託	遠鉄アシスト(株)		4,755,960	0	4,755,960		R7.4.1 ~R8.3.31			電気工作物保安点検	浜松城北工業高等学校
参考5	警備業務委託	セコム(株)		14,256,000	0	14,256,000		R6.10.1 ~R11.9.30			学校警備業務	浜松工業高等学校

負 担 金 支 出 調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	高等学校支援等金	全日制高等学校授業料(Ⅰ期753名分)	高等学校等就学の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	円 22,344,300	6.7.31
2	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期738名分)	"	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	36,323,100	6.10.31
3	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期2名分)	"	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	99,000	6.11.14
4	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期1名分)	"	授業料納入済みの認定者へ支給	49,500	6.12.6
5	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期1名分)	"	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	49,500	7.1.10
6	"	全日制高等学校授業料(Ⅲ期735名分)	"	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	29,046,600	7.1.31
7	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期1名分)	"	授業料納入済みの認定者へ支給	49,500	7.2.3
8	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期1名分)	"	授業料納入済みの認定者へ支給	49,500	7.2.25
9	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期2名分)	"	転学者に係る公金振替済の就学支援金について戻入振替	△ 19,800	7.2.28
10	"	全日制高等学校授業料(Ⅲ期1名分)	"	転学者に係る公金振替済の就学支援金について戻入振替	△ 29,700	7.2.28
11	"	全日制高等学校授業料(Ⅱ期1名分)	"	高等学校に在籍する生徒の授業料に充当	19,800	7.3.5
12	"	全日制高等学校授業料(Ⅲ期1名分)	"	転学者に係る公金振替済の就学支援金について戻入振替	△ 19,800	7.3.7
13	"	全日制高等学校授業料(Ⅲ期1名分)	"	戻入振替修正のための公金振替(整理番号10)	29,700	7.3.7
14	"	全日制高等学校授業料(Ⅲ期1名分)	"	授業料納入済みの認定者へ支給	19,800	7.3.21
15	全国商業高校長協会春季総会等参加費	全国商業高等学校長協会	納入通知	全国商業高校長協会春季総会等参加費	5,500	6.4.22
16	全国高等学校長協会総会研究協議会参加費	全国高等学校長協会	"	全国高等学校長協会総会研究協議会参加費	4,000	6.5.14
17	甲種防火管理新規講習参加費	一般財団法人日本防火・防災協会	"	甲種防火管理新規講習参加費	8,000	6.6.18
18	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	"	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	2,000	6.7.9
19	東海地区高等学校教頭・副校長連絡協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長連絡協議会	"	東海地区高等学校教頭・副校長連絡協議会参加費	2,000	6.9.30
計		19件	/	/	88,032,500	/

□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負 担 金 額	支出年月日
1	高 等 学 校 等 就 学 支 援 金	全 日 制 高 等 学 校 授 業 料 (I 期 690 名 分)	高等学校等 就学支援金 の支給に関 する法律	高等学校に在籍する 生徒の授業料に充当	円 20,473,200	7. 7.31
2	全国高等学校長協会 総会研究協議会参加費	全国高等学校長 協会	納入通知	全国高等学校長協会 総会研究協議会 参加費	4,000	7. 4.30
3	特別管理産業廃棄物管 理責任者に関する講習 会 受 講 料	公益財団法人日本 産業廃棄物処理振 興 セ ン タ ー	"	特別管理産業廃棄物管 理責任者に関する講習 会 受 講 料	13,200	7. 7.11
4	全国普通科高等学校長 協会総会研究協議会参 加 費	全 国 高 等 学 校 長 協 会	"	全国普通科高等学校長 協会総会研究協議会参 加 費	6,000	7. 8.14
計		4件	/	/	20,496,400	/

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予 算 目 科	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育 管理 費	浜松東高等学 校本館1階職 員トイレ改修 工事	浜松市中 央区笠井 新田町地 内	671,000 円	671,000 円	0 円	671,000 円
		合 計	1件	671,000	671,000	0	671,000

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予 算 目 科	工 事 名	工事箇所	当 初 設 計 金 額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
参 考 1	教育 管理 費	浜松東高等学 校消火栓ポン プ更新工事	浜松市中 央区笠井 新田町地 内	30,217,000 円	29,700,000 円	0 円	29,700,000 円
		合 計	1件	30,217,000	29,700,000	0	29,700,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘要
随契	明管工業株式会社	着手 R6.11.26 完成 R7.3.5	円 671,000	職員トイレ オストメイト対応	—	令達年月日 6.10.28 最終支払年月日 7.3.31
			671,000			

事 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

契約締結方法	受注者	着手 完成(予定) 年月日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘要
	静西興業株式会社	着手 R7.6.10 完成 R8.1.16	円 11,880,000	消火栓ポンプの更新	未	静岡県浜松土木事務所 建築住宅課 建築住宅班
			11,880,000			

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

	6年3月31日現在		増		減		7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 144,020		千円		千円 4,647		千円 139,373	
土地	m ² 4,048.46	91,380					m ² 4,048.46	91,380	
立木竹	本 65	11,049					本 65	11,049	
建物	m ² 5,897.19 13,642.09	293				293	m ² 5,897.19 13,642.09		
工作物	個 62	41,298				4,354	個 62	36,944	
普通財産									
土地	m ²						m ²		
建物	m ²						m ²		
工作物	個						個		
公有財産に準ずるもの		213						213	
電話加入権	件 5	213					件 5	213	

(令和7年8月31日現在)

	7年3月31日現在		増		減		7年8月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 139,373		千円		千円 171		千円 139,202	
土地	m ² 4,048.46	91,380					m ² 4,048.46	91,380	
立木竹	本 65	11,049			2	171	本 63	10,878	
建物	m ² 5,897.19 13,642.09						m ² 5,897.19 13,642.09		
工作物	個 62	36,944					個 62	36,944	
普通財産									
土地	m ²						m ²		
建物	m ²						m ²		
工作物	個						個		
公有財産に準ずるもの		213						213	
電話加入権	件 5	213					件 5	213	

□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所 在 地	地 目		数 量 又 は 積 面	借 料		契 期 約 間	所 有 者 又 は 約 者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土 地	学校敷地	浜松市中央区笠井新田町1442ほか	学校用地	学校敷地	32,974.76		無 償	R5.4.1 ～ R8.3.31	浜 松 市 長	校舎敷地 運動場
2	"	"	浜松市中央区上石田町字北浦2617-2	"	"	124.62	円 370.18	円 41,635	R5.4.1 ～ R8.3.31	"	テニスコート
3	"	"	浜松市中央区笠井新田町1314-24ほか	"	"	4.00	円 690.75	円 2,494	R5.4.1 ～ R8.3.31	"	自 動 販 売 機 設 置 用 地
4	"	"	浜松市中央区上石田町2619地先	普通 河川	水路	5.60		無 償	R4.4.1 ～ R9.3.31	"	通 行 路 (占有許可)
計						128.62		円 44,129			
5	建 物	雑工 作物	浜松市中央区笠井新田町1442	鉄 骨 鉄 板 造 平 屋 建	骨 造 建 造	158.70		無 償	R5.4.1 ～ R8.3.31	静 岡 県 立 浜松東高等学校 後 援 会 会 長	弓 道 場
6	"	事 務 所 建	浜松市中央区笠井新田町1442	鉄 筋 コンクリート 3 階 建	筋 造 建 造	254.49		無 償	R5.4.1 ～ R8.3.31	"	生 活 館
7	"	雑工 作物	浜松市中央区笠井新田町1442	鉄 骨 平 屋 建	骨 造 建 造	126.00		無 償	R5.4.1 ～ R8.3.31	"	ピッチング 練 習 場
計						539.19					
8	工 作 物	照 明 装 置	浜松市中央区笠井新田町1442	照 明 (本館2個、 南館1個)		3.00		無 償	R7.4.1 ～ R8.3.31	静 岡 県 立 浜松東高等学校 後 援 会 会 長	グ ラ ウ ン ト 夜 間 照 明
9	"	"	"	照 明 (照明灯ホール 3本、投光器 6台、マルチ ハロゲン灯6個、 電撃殺虫器 3台)		1.00		無 償	R7.4.1 ～ R8.3.31	"	テニスコート 夜間照明
10	"	雑工 作物	"	コンクリートボール 8本、防砂ネット 66㎡ 他		1.00		無 償	R7.4.1 ～ R8.3.31	"	弓道場用 防砂ネット
11	"	"	"	コンクリートボール 2本、アーチェリー ネット52.2㎡		1.00		無 償	R7.4.1 ～ R8.3.31	"	"
12	"	冷 暖 房 装 置	"	空調設備 25教室 室内外機		1.00	円 5,926,085		R3.7.1 ～ R16.6.30	三 井 住 友 ファイナンス&リース 株 式 会 社	普 通 教 室 空 調
13	"	"	"	空調設備 14教室 室内外機		1.00	円 5,918,678		R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TCリース 株 式 会 社 静 岡 支 店	特 別 教 室 空 調
14	"	そ の 他	"	校訓碑及び 記念碑		2.00		無 償	R7.8.26 ～ R8.3.31	静 岡 県 立 浜 松 東 高 等 学 校 同 窓 会	石 碑
計						6.00		円 11,844,763			
合 計								円 11,888,892			

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日 現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間		貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額				
1	建物	事務所建	浜松市中央区笠井新田町1442	鉄筋コンクリート造4階		m ² 3.00	—	円 3,060	4.4.1 7.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校後援会長	自動販売機設置
2	〃	〃	〃	〃		m ² 3.00	—	円 3,060	7.4.1 8.3.31	から まで	〃	〃
3	〃	〃	〃	〃		m ² 31.50	—	無償	4.4.1 7.3.31	から まで	〃	購買室設置
4	〃	〃	〃	〃		m ² 31.50	—	無償	7.3.31 8.3.31	から まで	〃	〃
5	〃	〃	〃	〃		m ² 3.30	—	無償	6.3.31 7.3.31	から まで	〃	外郭団体執務場所
6	〃	〃	〃	〃		m ² 3.30	—	無償	7.3.31 8.3.31	から まで	〃	〃
7	〃	〃	〃	〃		m ² 3.30	—	無償	6.4.1 7.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校PTA会長	外郭団体執務場所
8	〃	〃	〃	〃		m ² 3.30	—	無償	7.3.31 8.3.31	から まで	〃	〃
9	〃	〃	〃	〃		m ² 2.00	—	円 283,213	5.4.1 8.3.31	から まで	株式会社ダイドービパレッジ	自動販売機設置
10	工作物	囲障	〃	鉄骨造		m ² 0.21	—	無償	6.10.9 6.11.1	から まで	浜松市	公営ポスター掲示場設置
11	〃	〃	〃	〃		m ² 0.21	—	無償	7.6.20 7.7.25	から まで	〃	〃
合計											289,333	

□□□□□□□

普通財産・借受財産等貸付調

(令和7年8月31日 現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間		貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額				
1	土地	学校敷地	浜松市中央区笠井新田町1442	学校用地	学校敷地	m ² 1.08	—	無償	5.4.1 8.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校同窓会会長	校訓碑設置
2	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 1.62	—	無償	5.4.1 8.3.31	から まで	〃	記念碑設置
3	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 2.00	—	円 580,300	5.4.1 8.3.31	から まで	サントリービパレッジソリューション株式会社	自動販売機設置
4	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 10.25	—	無償	4.4.1 7.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校後援会会長	団体職員駐車場
5	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 10.25	—	無償	7.4.1 10.3.31	から まで	〃	〃
6	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 2.00	—	1,313	4.4.1 7.3.31	から まで	〃	自動販売機設置
7	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 2.00	—	1,247	7.4.1 10.3.31	から まで	〃	〃
8	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 10.25	—	無償	4.4.1 7.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校PTA会長	団体職員駐車場
9	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 10.25	—	無償	7.4.1 10.3.31	から まで	〃	〃
10	〃	〃	〃	〃	〃	m ² 126.00	—	無償	5.4.1 8.3.31	から まで	静岡県立浜松東高等学校後援会会長	ピッチング練習場設置
合計											582,860	

□□□□□

備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	14	(0) 2	0	(2) 2	0	14
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	1	(0) 29	0	(29) 29	0	1
01-04 収納保管庫類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-05 印刷機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-99 その他の庁用器具類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
02-01 情報処理機器類	372	(0) 0	0	(0) 5	110	367
02-02 情報伝達機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
02-03 再生機器類	7	(0) 0	0	(0) 1	0	6
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

□□□□□

備品・図書調

				数量	売却価格 (円)	令和7年 3月31日 現在
		(円)	(円)			
05-02 波動・熱試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-04 電気電子機器類	3	(0) 0	0	(0) 1	0	2
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-06 家庭科用器具類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
10-07 音楽用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
10-10 地学天文学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
90-10 年間契約追録	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
計	514	(0) 31	0	(31) 39	110	506

□□□□□

備品・図書調

(令和7年度)

区分	令和7年 3月31日 現在	増		減		令和7年 8月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	16	(0) 0	0	(0) 0	0	16
01-05 印刷機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-07 書類整理器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-10 印判類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-13 厨房器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-14 冷暖房器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-99 その他の庁用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-01 情報処理機器類	367	(16) 16	0	(0) 0	0	383
02-02 情報伝達機器類	9	(0) 0	0	(0) 0	0	9
02-03 再生機器類	6	(0) 0	0	(0) 1	0	5
03-02 観察・観測用光学機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
03-03 視覚用再生等機器類	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-02 衛生検査用機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

□□□□□

備品・図書調

区分	令和 7年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 8月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
05-02 波動・熱試験計測機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
05-08 度量衡測定機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
06-04 電気電子機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
06-99 その他の諸機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
07-01 農産用機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-03 社会用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-05 生物物理化学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-06 家庭科用器具類	17	(1) 1	0	(0) 0	0	18
10-07 音楽用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
10-10 地学天文学用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
10-99 その他の教育用器具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
90-10 年間契約追録	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
計	506	(17) 17	0	(0) 1	0	522

□□□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入 年月	購入金額
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報処理プレゼン設備 intel社E-2224他	週4日(年間30週) 課題研究の発表等に使用	令和4年3月	円 15,994,000
2	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 富士通ESPRIMO D587/R	週5日(年間30週) プログラミング等の授業に使用	平成30年2月	10,584,000
3	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報基礎実習装置 富士通FMVD15056他	週5日(年間30週) 電子商取引等の授業に使用	平成29年2月	10,238,400
4	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	総合実践実習装置 富士通FMV-D5290	週5日(年間30週) 情報処理等の授業に使用	平成22年3月	9,870,189
5	2-1	パーソナルコンピュータ 周辺機器	学びを拡げるICT活用事業機 器 壁掛けプロジェクト他	週3日(年間30週) 普通教科等の授業に使用	令和元年9月	9,576,727
6	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	ICT環境整備機器 富士通 LIFEBOOK A577/R他一式	週5日(年間30週) 情報と社会等の授業に使用	平成30年3月	4,769,280
7	1-2	台	商品実験室実験台 教師用1台、生徒用11台他	週5日(年間30週) 生物等の授業に使用	平成29年3月	3,376,080
8	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	表示システム 教師用周辺機器・机	週5日(年間30週) 情報処理等の授業に使用	平成21年1月	2,549,757
9	1-14	エアコンディショナー	空気調和装置 日立PRC-J140HI	年間90日 室内温度管理に使用	平成10年12月	2,362,500
10	1-14	エアコンディショナー	空気調和装置 冷房能力14Kw 暖房能力16kw	年間90日 室内温度管理に使用	平成9年2月	2,163,000
11	2-2	放送装置	体育館放送装置 松下WP-1200A	年間50日 校内放送に使用	平成11年3月	1,974,000
12	1-1	その他の机	サーバー用机等 1800×800×700 他	週5日(年間30週) 情報処理等の授業に使用	平成20年11月	1,710,310
13	1-1	その他の机	教師卓・生徒卓・サーバー卓・ プリンタ卓	週4日(年間30週) 情報処理等の授業に使用	平成11年2月	1,500,359
14	1-4	移動書庫	移動書庫 オカムラ 2連6列	毎日(年間365日) 書類の保管に使用	平成5年1月	1,160,000
15	2-2	放送装置	校内放送装置 パナソニック WL-SA112	毎日(年間200日) 校内放送に使用	平成25年3月	808,500
16	5-99	試験実験機器	テレビ 中村理科 E30-1026	週3日(年間90日) 視聴覚授業に使用	平成14年2月	697,000
17	10-6	教育調理器具	教師用調理台 示範台	月8日(年間72日) 家庭科の実習に使用	平成9年3月	696,280
18	10-7	鍵盤楽器	アップライトピアノ 椅子共	月8日(年間72日) 音楽の授業等に使用	平成22年3月	636,300
19	10-7	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ	月8日(年間72日) 音楽の授業等に使用	昭和49年4月	595,000
20	10-6	教育調理器具	調理実習台	月8日(年間72日) 家庭科の実習に使用	平成9年3月	527,772

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	校長	鈴木 真一		□□□	□年□月	□□□
2	副校長	坪井 保人	数 学	□□□	□	□□□
3	教 頭	近藤 好正	商業・情報	□□□	□	□□□
4	事務長	澤木 孝	事務総括	□□□	□	□□□
5	教 諭	北村 雅子	外国語	□□□	□	□□□
6	教 諭	小野田 宗弘	芸術(美術)	□□□	□	□□□
7	教 諭	内田 朱美	外国語	□□□	□	□□□
8	教 諭	井口 繁和	理 科	□□□	□	□□□
9	教 諭	平野 知彦	芸術(音楽)	□□□	□	□□□
10	教 諭	西尾 隆司	理 科	□□□	□	□□□
11	教 諭	濱田 利忠	商業・情報	□□□	□	□□□
12	教 諭	浅羽 義彦	商 業	□□□	□	□□□
13	教 諭	平松 学	家 庭	□□□	□	□□□
14	教 諭	堀内 裕子	国 語	□□□	□	□□□
15	教 諭	小林 香織	外国語	□□□	□	□□□
16	教 諭	熊谷 智子	商 業	□□□	□	□□□
17	教 諭	石川 大介	保健体育	□□□	□	□□□
18	教 諭	柳生 宗広	数 学	□□□	□	□□□
19	教 諭	井口 仁美	保健体育	□□□	□	□□□
20	教 諭	杉江 由紀子	外国語	□□□	□	□□□
21	教 諭	田川 泰之	商 業	□□□	□	□□□
22	教 諭	菅沼 大介	保健体育	□□□	□	□□□
23	教 諭	稲葉 希代美	商 業	□□□	□	□□□
24	教 諭	外山 めぐみ	保健体育	□□□	□	□□□
25	教 諭	亀尾 恵里奈	家 庭	□□□	□	□□□
26	教 諭	山崎 大介	保健体育	□□□	□	□□□
27	教 諭	辻 泰範	商業・情報	□□□	□	□□□
28	教 諭	増田 直剛	保健体育	□□□	□	□□□
29	教 諭	佐藤 大輔	商 業	□□□	□	□□□
30	教 諭	松本 剛	数 学	□□□	□	□□□
31	教 諭	石川 創	外国語	□□□	□	□□□
32	教 諭	平野 翔士	商業・情報	□□□	□	□□□
33	教 諭	牧野 美矢子	国 語	□□□	□	□□□
34	教 諭	田村 俊樹	理 科	□□□	□	□□□
35	教 諭	三ツ谷 啓希	数 学	□□□	□	□□□
36	教 諭	鈴木 悠太	保健体育	□□□	□	□□□
37	教 諭	加藤 亜依	国 語	□□□	□	□□□
38	教 諭	藤永 健吾	地歴・公民	□□□	□	□□□
39	教 諭	杉山 沙緒理	保健体育	□□□	□	□□□
40	教 諭	小林 武	国 語	□□□	□	□□□

□□□□□

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
41	教 諭	水 口 奈 央	地 歴 ・ 公 民	□ □ □	□ 年 □ 月	□ □ □
42	教 諭	梶 田 葉 月	国 語	□ □ □	□ □	□ □ □
43	教 諭	服 部 優 介	商 業	□ □ □	□ □	□ □ □
44	教 諭	中 島 友 希	商 業	□ □ □	□ □	□ □ □
45	教 諭	五 十 嵐 斐	商 業	□ □ □	□ □	□ □ □
46	教 諭	三 ツ 石 颯	国 語	□ □ □	□ □	□ □ □
47	教 諭	洞 口 英 己	地 歴 ・ 公 民	□ □ □	□ □	□ □ □
48	教 諭	鈴 木 愛 翔	地 歴	□ □ □	□ □	□ □ □
49	教 諭	鈴 木 浩	理 科	□ □ □	□ □	□ □ □
50	教 諭	内 藤 龍 太 郎	地 歴 ・ 公 民	□ □ □	□ □	□ □ □
51	教 諭	中 村 淳	地 歴 ・ 公 民	□ □ □	□ □	□ □ □
52	教 諭	加 藤 宗 太 郎	外 国 語	□ □ □	□ □	□ □ □
53	教 諭	中 津 川 和 宏	芸 術 (書 道)	□ □ □	□ □	□ □ □
54	教 諭	鷹 野 誠	数 学	□ □ □	□ □	□ □ □
55	教 諭	岡 雅 章	商 業	□ □ □	□ □	□ □ □
56	養 護 教 諭	大 隅 晶 代	養 護	□ □ □	□ □	□ □ □
57	養 護 教 諭	原 田 美 穂	養 護	□ □ □	□ □	□ □ □
58	主 任 実 習 助 手	山 田 優 子	理 科	□ □ □	□ □	□ □ □
59	主 任 実 習 助 手	下 田 ゆ り 子	商 業 ・ 情 報	□ □ □	□ □	□ □ □
60	実 習 助 手	野 末 祐 子	商 業 ・ 情 報	□ □ □	□ □	□ □ □
61	主 査	木 本 賢 人	旅 費 ・ 会 計	□ □ □	□ □	□ □ □
62	主 査	杉 野 な つ み	庶 務 ・ 会 計	□ □ □	□ □	□ □ □
63	主 任	山 口 み な み		□ □ □	□ □	□ □ □
64	主 任	神 谷 恭 平	管 財 ・ 会 計	□ □ □	□ □	□ □ □
平均年数					□ 年 □ 月	

□□□□□

臨時職員・非常勤職員・会計年度任用職員

(令和7年8月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	長瀬 一樹	国語	□□□	□年□月	□□□
2	教諭	井口 勝浩	ジョブサポート ティーチャー	□□□	□	□□□
3	主事	鈴木 桂子	庶務・給与	□□□	□	□□□
4	外国語指導 講師	エリン・ロバート・ガビンズネ	外国語	□□□	□	□□□
5	非常勤講師	高橋 敬子	家庭	□□□	□	□□□
6	非常勤講師	稲勝 まりあ	外国語	□□□	□	□□□
7	非常勤講師	富永 敏廣	数学	□□□	□	□□□
8	非常勤講師	萩野 信慶	地歴・公民	□□□	□	□□□
9	非常勤講師	松野 優子	国語	□□□	□	□□□
10	非常勤講師	加藤 和哉	地歴・公民	□□□	□	□□□
11	非常勤講師	鈴木 文雄	商業	□□□	□	□□□
12	非常勤職員	石原 康弘	環境整備	□□□	□	□□□
13	非常勤職員	大石 佳生	環境整備	□□□	□	□□□
14	非常勤職員	松下 光人	環境整備	□□□	□	□□□
15	部活動指 導員	杉山 直哉	サッカー部	□□□	□	□□□
16	健康管理医	松田 宏一	内科	□□□	□	□□□
17	学校医	松田 宏一	内科	□□□	□	□□□
18	学校医	永田 豊文	眼科	□□□	□	□□□
19	学校医	藤森 俊也	耳鼻科	□□□	□	□□□
20	学校歯科医	丹羽 裕美智	歯科	□□□	□	□□□
21	学校薬剤師	曾布川美登理	薬剤師	□□□	□	□□□

□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	8	
30歳以上40歳未満	13	
40歳以上50歳未満	19	
50歳以上56歳未満	9	
56歳以上61歳未満	6	
61歳以上	9	暫定再任用職員
計	64	平均年齢 45.2歳

□□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 62 人
	職員数 62 人
受 診 率	100 %
県 平 均 受 診 率	100 %

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0 人
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 0 人
B2		要経過観察 0 人
C1	勤務をほぼ平常に行っており、症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 1 人 (1)
C2		要経過観察 0 人
D1	平常の勤務でよい。	要 治 療 14 人 (14)
D2		要経過観察 21 人 (21)
D3		医 療 不 要 26 人 (26)
区 分 者 計		62 人 (62)
未 区 分 者 数		2 人
合 計		64 人 (64)

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

C1該当者
治療における勤務方法について本人と面談を行い、今後の治療法により、特休及び年休等の対応を図る。そのための授業時間割の変更も視野に入れている。

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 0 人
イ 新規採用 2 人